平成２５年度事業報告

HIROSHIMA SANSHINKO Hiroshima Industrial Promotion Organization

公益財団法人ひろしま産業振興機構

1　創業・新事業創出等の促進　（172,544 千円）

創業，新事業展開，経営革新等を促進するため，中小企業・ベンチャー総合支援センターの運営により，ワンストップサービスの推進など総合的な支援体制を構築し，企業の成長段階に応じた一貫した支援を行った。

(1) 事業化・市場化の支援　（139,829 千円）

①－1　創業環境整備促進事業　（県 33,578 千円）

創業意欲のより高い創業希望者や第二創業を目指す企業等に対して，「ひろしま創業サポートセンター」を４月に設置し，中小企業診断士，公認会計士，税理士等の専門家がきめ細やかにサポートするとともに，多様な創業を喚起するために創業支援プログラムを構築している。

ア　創業マネージャーによる相談対応

創業マネージャーを３名配置し，創業前，創業時，創業後の各段階に応じた相談に対応した。

【ひろしま創業サポートセンターへの相談実績（３月末現在)】　（単位:件）

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
①創業補助金関係		41	28	24	3	7	23	27	16	13	6	22	24	234
②起業・創業関係		0	1	37	29	30	20	19	20	13	18	14	13	214
相談内容	*事業計画*			*6*	*11*	*21*	*9*	*6*	*16*	*11*	*15*	*10*	*12*	*117*
	公的支援		*1*	*6*	*7*	*10*	*7*			*3*	*3*	*4*	*2*	*43*
	会社設立法務			*1*	*6*	*1*	*2*	*1*	*1*					*12*
	財務税務				*1*		*2*		*1*	*2*	*3*	*2*		*11*
	商品開発			*5*	*5*		*2*	*3*			*1*			*16*
	販路開拓			*2*	*3*	*3*	*1*				*1*	*1*		*11*
	人事労務				*1*	*1*								*2*
	生産管理						*1*	*1*						*2*
	その他			*26*	*9*	*2*	*7*	*8*	*4*		*1*	*1*		*58*
計（①+②）		41	29	61	32	37	43	46	36	26	24	36	37	448

※　上記②の相談内容は，該当する項目を複数計上しているため，計と一致しない。

イ　創業セミナーの開催

創業希望者を対象に，集中指導（ビジネスプラン作成セミナー，起業家講演など）を実施した。

週末２日間程度（２０名）×１０回程度

【創業セミナー開催実績（３月末現在)】

No.	区分		日時	会場	参加者数	実施形態	備考
1	創業支援事業キックオフセミナー	－	6/10	広島	179	主催	広島県，産振構
2	ビジネスプラン作成セミナー	第１回	7/14，28	広島	17	共催	産振構，広島商工会議所
3		第２回	8/3，18	広島	20	主催	
4		第３回	9/14，21	東広島	16	共催	産振構，東広島市(ｺﾗﾎﾞｽｸｴｱ)
5		第４回	10/13，27	呉	13	共催	産振構，呉市，呉商工会議所呉地域中小企業支援センター，日本政策金融公庫，呉信用金庫，県西部工業技術センター，くれ産業振興センター

No.	区分		日時	会場	参加者数	実施形態	備考
6	創業のすゝめセミナー	第１回	7/20	広島	15	共催	広島信用金庫，産振構
7		第２回	11/9	広島	11	共催	広島信用金庫，産振構
8	創業スタートアップセミナー	第１回	8/24	広島	15	共催	広島信用金庫，産振構
9		第２回	12/14	広島	10	共催	広島信用金庫，産振構
10	創業応援サロン	第１回	9/19	広島	3	共催	広島信用金庫，日本政策金融公庫，産振構
11		第２回	12/19	広島	2	共催	広島信用金庫，日本政策金融公庫，産振構
12	創業応援サロン α	－	1/18，2/22，3/15	広島	1/18 4 2/22 0 3/15 3	共催	広島信用金庫，産振構
13	創業塾	－	9/7，14，21，28，10/5，12	福山	40	委託	福山商工会議所福山地域中小企業支援センター，産振構
14	地域活性化セミナー	第１回	9/3	世羅	18	共催	日本政策金融公庫，世羅町商工会，産振構
15		第２回	9/25	福山	82	共催	日本政策金融公庫，福山商工会議所，福山市，産振構，広島銀行
16	女性創業セミナー	第１回	9/21	広島	34	委託	NPO 法人ひろしまコミュニティカレッジ
			10/3，10，17，26	広島	36		
17		第２回	10/5	尾道	43	委託	ハーストーリィプラス
18		第３回	10/12	広島	124	委託	ハーストーリィプラス
19		第４回	3/21	尾道	9	委託	ハーストーリィプラス
20		第５回	3/23	広島	14	委託	ハーストーリィプラス
21	創業支援セミナー（会計の基礎知識と事業計画作成のポイント）	第１回	10/5，6	広島	16	主催	
22	創業塾	－	11/16，23，30，12/7	竹原	11	共催	産振構，竹原商工会議所
23	実践型創業支援セミナー	－	12/7，14	廿日市	15	共催	廿日市商工会議所，産振構
24	INNOVATION TALK in HIROSHIMA	#1	11/23	広島	94	主催	広島県，産振構
25		#2	1/20	広島	141	主催	広島県，産振構，日本公認会計士協会中国会
26	創業・第二創業セミナー	第１回	1/26，2/2	府中	22	共催	産振構，府中商工会議所
27		第２回	3/1，8，15，22	広島	26	主催	産振構
28	経営体験ゲームセミナー	－	2/8，15	広島	12	主催	産振構
29	広島イノベーション・ハブ～新たなビジネスを構想するワークショップ	－	2/19	広島	60	共催	広島県，産振構，日本政策投資銀行
30	会計の基礎知識と損益計画作成のポイント	－	2/16，23	広島	34	主催	
計				【実績】1,139 名			

ウ　創業サポーターによる専門アドバイスの実施

創業前後で，中小企業診断士・公認会計士・税理士・コンサルタント等の創業サポーターによるビジネスプラン策定，資金調達，会社設立申請，税務申告等についての専門指導を行った。

支援対象者：創業前１年，創業後１年以内の事業者（最大２年間支援）

創業サポーター登録者数：７２名（３月末現在）

【創業サポーター支援実績（３月末現在）】

区分	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
支援事業者数※	4 名	2 名	3 名	8 名	15 名	13 名	26 名	20 名	20 名	111 名
延べ支援回数	4 回	2 回	4 回	9 回	16 回	16 回	28 回	22 回	22 回	123 回
延べ支援時間数	6.0h	3.0h	8.0h	19.0h	27.0h	33.0h	53.0h	51.0h	52.0h	252.0h

※支援事業者数は実支援事業者数を表す（同一月で同一支援事業者の場合は１名で計上）。

①－2　地域需要創造型等起業・創業促進事業　（国 16,926 千円）

地域のニーズに応える新商品・新サービスを提供する事業計画を持つ方の起業・創業に対して，その創業事業費等の一部を補助することで，地域需要を興すビジネス等を支援した。

【創業補助金】

区分		対象者	補助率	補助上限額
平成24年度補正予算	①地域需要創造型起業・創業	地域の需要や雇用を支える事業を興す起業・創業を行う者	補助対象経費の2/3以内	200万円
	②第二創業	既に事業を営んでいる中小企業・小規模事業者において後継者が先代から事業を引き継いだ場合などに業態転換や新事業・新分野に進出する第二創業を行う者		500万円
	③海外需要獲得型起業・創業	海外市場の獲得を念頭とした事業を興す起業・創業を行う者		700万円
平成25年度補正予算	①創業	国内・海外を問わず新たな需要を創造する創業（第二創業を含む）を行う者	補助対象経費の2/3以内	200万円
	②第二創業			

【平成24年度補正予算 創業補助金の採択実績（３月末現在）】　（単位:件）

区分		地域需要創造型	第二創業	海外需要獲得型	計	*応募数*
第1回募集	第1次	12	1	－	13	*15*
		0	0	－	0	*0*
	第2次	411	53	62	526	*634*
		8	0	1	9	*11*
第2回募集	第1次	184	12	－	196	*230*
		9	1	－	10	*11*
	第2次	1,347	129	248	1,724	*2,302*
		53	4	4	61	*69*
第3回募集	第1次	1,439	120	156	1,715	*3,184*
		61	3	2	66	*96*
	第2次	1,795	133	197	2,125	*7,800*
		53	3	1	57	*161*
計		5,188	448	663	6,299	*14,165*
		184	11	8	203	*348*

※　上段：全国，下段：広島県

【平成25年度補正予算 創業補助金の応募・採択状況（４月末現在）】　（単位:件）

区分	創業	第二創業	計	*応募数*
第1次	744	17	761	*1,593*
	33	1	34	*48*
第2次	公　募　中		－	－
			－	－

※　上段：全国，下段：広島県

② 中小企業イノベーション促進支援事業（チーム型支援事業）　（県，受　32,865 千円）

ア　チーム型支援

全国トップレベルの専門家（マーケティング，セールス，ブランディング，デザイン，知的財産戦略，生産管理等）等で構成された支援チームにより，中小企業の新事業展開等の集中支援を実施している。

企　業　名 （所在地）	支援目標 （３年後）	支援分野・専門家
㈱アールテック・リジョウ （広島市）	○生産性向上による利益の向上	◎生産管理システムの導入支援 ・工場レイアウトや人員配置の変更等 ・増産要求に対応可能な体制構築 【生産管理】㈱アットストリーム　平山賢二氏（大阪府）
オオアサ電子㈱ （北広島町）	○自社製スピーカー（小型廉価版）の開発と販路拡大	◎マーケティング・セールス支援 ・大型家電量販店以外の販路先の開拓 ・ロット販売を行うための営業体制の構築等 【マーケティング・セールス】アイマーケ㈱　石川憲昭氏（京都府）
備後撚糸㈱ （福山市）	○「和紙糸」という撚糸素材の活用	◎マーケティング・セールス支援 ・高付加価値となりうる製品の絞込みとブラッシュアップ ・百貨店等販路開拓等 【マーケティング・ブランディング】 ㈱ＩＲＭＡＮＯ　福田真弓氏（広島県）
多加津堂酒店㈲ （廿日市市）	○「元祖もみぢ饅頭」の販路拡大	◎マーケティング・セールス支援 ・増産体制の構築等の経営計画の策定 ・「元祖」というブランド化の構築 【マーケティング・セールス，経営】 ㈱ゴールドボンド　大平孝氏，寺澤正文氏（大阪府） エースコンサルティング　酒井健次氏（広島県）
坂本デニム㈱ （福山市）	○現行生産ラインの生産性向上 ○「細番糸のインディゴ染め」加工に関する生産管理システムの構築	◎生産管理システムの導入支援 ・ムダ・不備を見つける生産管理手法の導入による現行生産ラインの効率化・コストダウン ・「細番糸のインディゴ染め」加工に関する生産管理システムの構築等 【生産管理】㈱アットストリーム　平山賢二氏（大阪府）
新中央工業㈱ （東広島市）	○開栓補助具「アケルンジャー」の販路拡大	◎マーケティング・セールス，デザイン支援 ・商品のネーミング，デザイン，パッケージの見直し ・商品企画，販売支援 【マーケティング・セールス，デザイン】 ㈱ゴールドボンド　大平孝氏（大阪府） 木全デザインオフィス　木全賢氏（東京都） ナッツデザインスタジオ　高橋伸幸氏（広島県）
㈲広島ピーエス （東広島市）	○Ｌパケ，タイヤラック，４ＷＳ台車の販路拡大 ○知財戦略の構築	◎マーケティング・セールス・デザイン支援 ・販売促進ツール等の作成 ◎知財戦略支援 ・競合他社の類似品排除のための知財戦略 ・販売契約に関する法務支援 【マーケティング・セールス，知財戦略，デザイン】 正林国際特許商標事務所　正林真之氏，齋藤拓也氏（東京都） ナッツデザインスタジオ　高橋伸幸氏（広島県）
㈱タテイシ広美社 （府中市）	○ＬＥＤライトパネル，防災用「ＬＥＤ避難誘導灯」の販路拡大	◎マーケティング・セールス支援 ・ＴＬライトパネルの販路拡大のための代理店網の整理等 ・ＬＥＤ避難誘導灯の自治体向け営業支援 【マーケティング・セールス】 インタートラスト・マネージメント㈱　須方研詞氏（兵庫県）

企　業　名 （所在地）	支援目標 （３年後）	支援分野・専門家
㈱アイルネット （福山市）	○照明器具（導光板，その応用品）の販路拡大（代理店網の整理）	◎マーケティング・セールス支援 ・代理店網の整備（建築設計事務所・ゼネコン等のコネクションを有する代理店） ・代理店との契約締結内容の整理（価格設定，代理店支援方法） 【マーケティング・セールス】 ㈱ゴールドボンド　大平孝氏（大阪府）
第一コンテク㈱ （広島市）	○無電源の水処理装置の販路拡大 （河川水等を飲料水に浄水）	◎マーケティング・セールス支援 ・性能評価等品質保証体制の整備 ・代理店契約など販売に向けた体制整備 【マーケティング・セールス】 アイマーケ㈱　石川憲昭氏（京都府） BEST for YOU 鳥淵浩伸氏（滋賀県）
宝積飲料㈱ （東広島市）	○自社商品の販路拡大	◎マーケティング・セールス支援 ・ギフト，酒類問屋ルート，居酒屋直販ルートの開拓 ・ネット販売，通販への可能性検討 【マーケティング・セールス】 ㈱ゴールドボンド　大平孝氏（大阪府）
巴屋清信㈲ （広島市）	○高級路線のギフト商品（海鮮しぼり焼き詰合セット）の販路拡大	◎マーケティング・セールス支援 ・販路拡大に向けた定価設定の見直し，商品の選定 ・包装・デザインの見直し 【マーケティング・セールス】 ㈱ＩＲＭＡＮＯ　福田真弓氏(広島県)
東洋電装㈱ （広島市）	○屋外型情報伝送装置の販路拡大	◎マーケティング・セールス支援 ・自社ＰＲ等の広報活動，展示会出展ノウハウの習得 ・営業組織・販売体制の確立 ・ＩＴツールを使った販売戦略構築 【マーケティング・セールス】 アイマーケ㈱　石川憲昭氏（京都府） 村上勝彦氏（広島県）
シンコー㈱ （福山市）	○和尚様カジュアルをコンセプトとした商品のブランド戦略の構築	◎デザイン・ブランディング，生産管理，知財戦略支援 ・自社企画開発の和尚様カジュアル商品の統一デザインとコンセプトの立案 ・品質と適正コストを維持するための生産委託体制の構築 ・代理店契約の作成，商標登録・管理 【知財戦略】 正林国際特許商標事務所　正林真之氏，齋藤拓也氏（東京都）
㈱松創 （府中市）	○伝統産業の府中家具の高級路線の販路開拓	◎マーケティング・セールス・ブランディング支援 ・「ジュエリーボックス」の販路開拓 ・自社高級ブランドの確立 【マーケティング・セールス・ブランディング】 ㈱ＩＲＭＡＮＯ　福田真弓氏(広島県)
㈱砂谷 （広島市）	○宅配事業の強化，ブランド再構築	◎経営支援 ・「販売チャネル別の売上・利益計画の策定」，「主力製品の原価管理の導入」，「競合分析」等宅配事業の再構築 【経営支援】 ㈱ゴールドボンド　大平孝氏（大阪府）
㈱ＴＴＪ （広島市）	○ゴールデンシルクを使った新商品開発 ○新商品の特許戦略	◎マーケティング・ブランディング支援 ・マーケティング視点に立った新商品開発「枕，シーツ等の寝具」 ◎知財戦略の構築 【マーケティング・ブランディング】 ㈱クリエイティブ・ワイズ　三宅曜子氏（広島県） 【知財戦略】 正林国際特許商標事務所　正林真之氏，齋藤拓也氏(東京都)

企　業　名 （所在地）	支援目標 （３年後）	支援分野・専門家
クニヒロ㈱ （尾道市）	○広島牡蠣等の新商品の販路開拓及び新たなブランディングの展開	◎マーケティング・セールス支援 ・クニヒロブランドの確立 ・贈答品市場と直販ルートの開拓 ・ＢｔｏＣ商品の商品化とマーケティング戦略の立案 【マーケティング・セールス】 ㈱ゴールドボンド　大平孝氏（大阪府）
ＪＰテック㈱ （福山市）	○スマートフォン等向け保護フィルム専用貼付機のビジネスモデルの確立と販路開拓	◎マーケティング・セールス支援 ・携帯端末保護シート貼付事業のビジネスモデル確立 ・取扱店舗の開拓 ・顧客ｻｰﾋﾞｽ拡充，新規ﾋﾞｼﾞﾈｽ確立を目指す事業者への販路開拓 【マーケティング・セールス・ブランディング】 ㈱ＩＲＭＡＮＯ　福田真弓氏(広島県)
アンデックス㈱ （尾道市）	○スポーツサイクル「凪スピード」の販路拡大及び製造原価率の削減等	○マーケティング・セールス支援 ・小径自転車のマーケティング，商品戦略立案 ・販売店の開拓 ○経営戦略・生産管理等支援 ・製造原価率の削減等 【マーケティング・セールス・生産管理等支援】 ㈱ゴールドボンド　大平孝氏（大阪府）
ヤマト食品㈱ （福山市）	○新製法のあずき餡を使った新商品開発 ○エンドユーザー向け商品のブランドの立上げ	◎マーケティング・ブランディング・セールス支援 ・新製法のあずき餡と兄弟会社食品製造機器メーカーの「焼き機」による新商品のターゲットゾーン，展開イメージの構築 ・商品のブランドの立上げに向け検討
㈱ミカサ （広島市）	○新商品開発プロセスの習得，テストマーケティング，広告宣伝	◎マーケティング・セールス支援 ・マーケットインによる商品開発手法と業界分析，市場調査の実施 【知財戦略】 インタートラスト・マネージメント㈱　須方研詞氏（兵庫県）
㈱ひまわりフーズ （廿日市市）	○既存商品群の整理と営業方針の決定，顧客が求める高付加価値商品の開発	◎マーケティング・セールス支援 【マーケティング・セールス・ブランディング】 ㈱ゴールドボンド　大平孝氏（大阪府）
㈱山豊 （広島市）	○会社ＣＩの統一 ○首都圏百貨店向け新商品開発	◎マーケティング・ブランディング支援 【マーケティング・ブランディング・セールス】 ㈱ＩＲＭＡＮＯ　福田真弓氏(広島県)
㈱田中食品 （広島市）	○高付加価値の新商品の開発	◎マーケティング・ブランディング支援 【マーケティング・ブランディング】 ㈱クリエイティブ・ワイズ　三宅曜子氏（広島県）

イ　ビジネスマッチング

チーム型支援事業でマーケティング支援した製品の新規販路開拓のため，取引先候補の抽出及び商談機会の設定を行った。

企業名（所在地）	製品名	取引先候補 ﾘｽﾄｱｯﾌﾟ件数	商談成約 見込件数
シンコー㈱（福山市）	和尚様カジュアル製品（作務衣，頭陀袋，小物各種）	９０件	４件
宝積飲料㈱（東広島市）	機能性飲料「とろぷる習慣」	６８件	４件

ウ　セミナーの開催

チーム型支援事業の対象企業を掘り起こし及び支援成果事例を波及させるため，セミナーを開催した。

開催日	内　　容	参加者
H25.11.21	●勝つ改善力，ものづくり改革セミナー ～意見よりもデータ!測定できないものは改善できない (1)講演「『意見よりもデータ!』で現場力を高めるものづくり改革の取り組み』」 講師：㈱アットストリーム 会長・ビジネスフェロー　平山 賢二 氏 (2)支援事例報告 ①「精密板金加工における工場改善の実践事例」 発表者：㈱アールテック・リジョウ 製造部　製造課　課長　松岡 貴典 氏 ②「細番手糸の生産における能率向上の実践事例」 発表者：坂本デニム㈱　営業部　係長　上田 知幸 氏	79社・団体 86名
（セミナー） H26.3.3 （個別相談） H26.3.10	●成功する企業の商品開発セミナー ～売れる商品をつくるツボ「商品開発はけなされてナンボ！」～ （セミナー） ○講演「売れる商品開発の手法」，「ケーススタディー」 講師：インタートラストマネージメント㈱　代表取締役　須方 研詞 氏 （個別相談）「開発商品等の評価とアドバイス」 講師：インタートラストマネージメント㈱　代表取締役　須方 研詞 氏 講師：㈱アイマーケ　代表取締役　石川 憲昭 氏	（セミナー） 57社・団体 68名 （個別相談） 11社　16名
H26.3.11	●マーケティング・知的財産活用セミナー ～成功事例から学ぶ知って得する，連携による新商品開発のコツ～ (1)　マーケティングセミナー 「連携による新商品開発・ブランドづくり」 講師：㈱クリエイティブ・ワイズ 代表取締役 三宅　曜子 氏 (2)知的財産活用セミナー 「知的財産の活用による儲かる仕組みの構築，契約で失敗しないための基礎知識」 講師：正林国際特許商標事務所 所長・弁理士 正林 真之 氏 (3)支援事例報告「マーケティング・ブランディング，知的財産戦略」 発表者：㈱ＴＴＪ 代表取締役 長谷川 和博 氏 (4)ワークショップ　～　新たな着眼点で異業種とスクラムを組む	17社・団体 26名

エ　「ヒロシマ・デパートメント」

百貨店等の具体的な販路先への販売実績をフィードバックして，商品のブラッシュアップを行うＯＪＴ方式の支援を実施し，チーム型支援の新たなモデル事例となった。

○　強力な競合相手となる一般商品・ブランド品に埋没しないために，類似商品を集団化させて，販路開拓を実施した。
○　広島県品の支援施策共通の屋号「ヒロシマ・デパートメント」を冠し，集団化（セレクトショップ化），個別企業及び事業全体にかかるブランド価値の向上「ブランディング」を図り，市場化・事業化を推進することとし，百貨店の販売等具体的な出口を用意し，商品のブラッシュアップを行うモデル事例を輩出して行く取り組みである。
○　平成 25 年度は，試行的モデル事例として，広島県を代表する『レモン』にスポットを当て，広島県内事業者が製造・販売している瀬戸内広島レモン関連商品を集団化させ，キャラバン隊を編成し，販路拡大を行った。

1）大手食品卸・問屋と連携（Ｂ to Ｂ）した，展示会への出品

ｱ）スーパーマーケット・トレードショー2014（三井食品㈱ブース／しまなみ海道）

会　期	平成２６年２月１２日（水）～１４日（金）〔３日間〕
会　場	東京ビッグサイト　東全館（東京都江東区有明 3- 11- 1）
出　品	２５事業者／４７品

ｲ）2014 年春夏第１８回三井食品関西メニュー提案会

会　期	平成２６年２月２６日（水）〔１日間〕
会　場	マイドーム大阪（大阪市中央区本町橋 2-5）
出　品	２４事業者／４５品

ｳ）三井食品中四国支社　2014 年春の展示商談会三井食品

会　期	平成２６年３月１３日（木）〔１日間〕
会　場	広島市中小企業会館（広島市西区商工センター1-14-1）
出　品	２６事業者／４８品

2)大手小売店と連携（Ｂ to Ｃ）した，販売会への出品

ｱ）紀ノ国屋

会　期	平成２６年２月２０日（木）～２２日（土）〔３日間〕
会　場	ルミネザ・キッチン品川店　１階（東京都港区高輪 3-26-27）
出　品	９事業者／１７品

ｲ）イオンモール

会　期	平成２６年３月１５日（土）～１６日（日）〔２日間〕
会　場	イオンモール広島府中　1F　ムーンギャラリー（安芸郡府中町大須 2-1-1）
出　品	２１事業者／３９品

ｳ）小田急百貨店

会　期	平成２６年３月２６日（水）～３０日（日）〔５日間〕
会　場	小田急百貨店 新宿店/１階（東京都新宿区西新宿 1-1-3）
出　品	１７品

ｴ）物産オールスターズ（全国イオンモール）への出品

全国商工会連合会が中心となり，これまで地産地消されていた，こだわりの食材を全国の消費者にお披露目することを目的に全国の消費者に発信する「地域産品応援プロジェクト『ニッポン縦断！物産オールスターズ』(国予算　地域力活用市場獲得等支援事業)の一部」に，参画した。

■会期・会場

会　　期	会　　場
2/7～9	名取（宮城県）※，福岡，熊本，三光（大分県），宮崎
2/14～16	岡崎（愛知県）※，名取（宮城県），つがる柏（青森県），秋田，盛岡
2/21～23	八千代緑ヶ丘（千葉県）※，岡崎（愛知県），鈴鹿（三重県），高岡，浜松志都呂（静岡県）
2/28～3/2	札幌苗穂※，広島府中，倉敷，高知，新居浜
3/7～9	札幌苗穂，名取（宮城県），つがる柏（青森県），秋田，盛岡，鈴鹿（三重県），高岡，浜松志都呂（静岡県），KYOTO（京都府），広島府中，高知，新居浜，福岡，熊本，三光（大分県）

※：全国フェア（会期：上記の会期の前日より開催し，各４日間）

■出品（エントリー）：３５事業者／７５品

③　販路拡大支援事業　　（県，受，自 10,788 千円）

ア　販売力強化支援事業（「販売戦略塾」）　　（県 4,168 千円）

○　販売戦略セミナー

マーケティングや販路開拓に関する基本的戦略の習得（３回）のためのセミナーを開催した。

開催日	テ　　ー　　マ	参加者
H25. 5.18	『なぜ販路開拓をしなくてはいけないのか』	77社・団体　119名
H25. 6. 1	『どういった商品を作ればいいのか』	80社・団体　128名
H25. 6.15	『販売こそが生き残る道！』	72社・団体　111名

○　個別企業支援（製品・サービスのブラッシュアップ支援）

上記セミナーを受講した者の中から審査によって１２社を選定し，専門家による個別商品のブラッシュアップ（既存商品の改良，新商品の開発）を実施した。

No.	企　業　名	所在地	ブラッシュアップ商品
1	松本金型㈱	東広島市	新感覚爪削り
2	㈲ファッションリフォームエース	呉市	ウエストサポーター
3	Vivodo	広島市	新感覚ユニバーサルファッション
4	㈱中村製作所	熊野町	洗顔ブラシ
5	㈲マリンスター	広島市	御馳走あなご
6	丸徳海苔㈱	広島市	広島かき味のり
7	㈱クレセント	呉市	骨太パン
8	㈱ピーターパン	福山市	レモン果汁デニッシュ（仮）
9	マチモト㈱	福山市	バラジュース・ジャム
10	㈲マルイチ商店	東広島市	牡蠣まるごとせんべい
11	香木堂	東広島市	酒粕かりんとう
12	㈱はしだ	世羅町	まごころづつみ

イ　ビジネスフェア等の展示会出展支援事業　　（県，受，自 6,620 千円）

県内中小･ベンチャー企業の販路拡大の機会や事業パートナー等との出会いの場を創出するため，県内外の展示会への出展支援を行う団体に支援を行った。

○　環境ビジネス展示会出展支援事業　　（自 1,856 千円）

支援団体	一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会	
展 示 会	びわ湖環境ビジネスメッセ 2013	エコ・イノベーションメッセ 2013in ひろしま
開催時期	H25 年 10 月 24 日～26 日	H25 年 11 月 22 日～23 日
開催場所	滋賀県立長浜ドーム	広島県立広島産業会館西展示館
主　　催	滋賀環境ビジネスメッセ 実行委員会	「エコ・イノベーションメッセ in ひろしま」 実行委員会
出展企業数 (全体の小間数)	４社 第一コンテク㈱，㈱タテイシ広美社，㈱トロムソ，ミサワ環境技術㈱ （314 企業・団体）	１０社 一級建築士事務所 Pleasant Design，㈱グリーンテクノロジー，坂本デニム㈱，第一コンテク㈱，㈱寺田鉄工所，㈲東根製作所，㈱トロムソ，日本エコル合同会社，ミサワ環境技術㈱，㈲名水バイオ研究所 （135 企業・団体）
来場者数	３４，７４０名	７，９００名
商談状況	商談成立件数：２件 商談見込件数：２件	商談成立件数：３件 商談見込件数：９件

の

○　県外見本市出展支援事業　　（県，受 4,764 千円）

名　　称	東京インターナショナル・ギフトショー	グルメ＆ダイニングスタイルショー
開催時期	平成 26 年 2 月 5 日～7 日	平成 26 年 2 月 5 日～7 日
開催場所	東京ビッグサイト	東京ビッグサイト
主　　催	㈱ビジネスガイド社	㈱ビジネスガイド社
出展企業数 （全体の企業数）	４社 （2,314 社・団体）	４社（ほか，「ひろしま」地域ブランド価値向上推進事業でのブラッシュアップ企業１３社と合同出展） （216 社・団体）
来場者数	196,378 名	32,579 名
内　　容	雑貨に関する新商品・新技術の 展示・商談	食に関する新商品・新技術の 展示・商談
商談状況 （支援企業）	商談件数：163 件，商談成立件数：5 件， 商談見込件数：53 件	商談件数：239 件，商談成立件数：12 件，商談見込件数：56 件

④　「ひろしま」地域ブランド価値向上推進事業　（県 8,361 千円）

広島ブランドショップＴＡＵでの商品の取り扱いがあり，デパートや高級スーパー等の首都圏等での販路拡大を希望する県内の食品製造事業者に対し，専門家による商品のブラッシュアップや，首都圏のバイヤー等を招聘した商談会の開催や参加支援等を行い，首都圏等への販路拡大の機会を創出した。

ア　マーケティング力向上セミナー

首都圏等への販路開拓に臨む上で，必要となる，マーケティング・ビジュアルマーチャンダイジング（ＶＭＤ）の習得のためのセミナーを実施した。

開催日	テ　ー　マ	参加者
H25. 7.30	第一部　マーケティングセミナー 「小売店バイヤーから見た地域産品の現状分析」と「マーケティング戦略の構築方法」 講師：一般社団法人日本販路開拓支援協会 代表理事　大平　孝　氏 第二部　ＶＭＤセミナー 店舗における商品陳列など視覚的訴求の仕方を学ぶ 講師：一般社団法人日本販路開拓支援協会 理事　平山　友美　氏	20 社・団体　22 名

イ　個別企業支援（食品のブラッシュアップ支援）

セミナー受講者に対して，専門家による個別商品のブラッシュアップ（既存商品の改良，新商品の開発）を実施した。

実施期間	参加事業者数	支援内容
H25. 9.2 ～11.12	20 事業者	1～4 回のブラッシュアップ ・販路先・ターゲットの見直し ・商品ネーミング・包装・外箱等のデザインの見直し ・価格の見直し（原価計算の導入等）

ウ　県内商談会開催等

支援対象商品に応じた首都圏バイヤーを中心に招聘し，県内商談会を開催し，参加にあたっての商談戦略指導（商談会対策セミナー等），商談会後の営業戦略指導，首都圏専門見本市への参加にあたっての商談戦略指導などの支援を行い，８事業者で１５件の成約があった。

開催日	テ　ー　マ　等	参加者
H25.11.29	■県内商談会 参加バイヤー７業者（百貨店③，高質スーパー②.ギフト問屋①，都市型ホームセンター①） （H25.11.18　県内商談会事前セミナー開催）	18 事業者，25 名
H26.2.5 ～2.7	■グルメダイニングスタイルショー【再掲】 別途，見本出展事業として記載済み	12 事業者

⑤ 新事業創出チャレンジ企業支援事業　　（自　23,199 千円）

国の「地域中小企業応援ファンド」を活用し，県から無利子貸付を受けて創設した「ひろしまチャレンジ基金」の運用益により元気な中小・ベンチャー企業等の事業化・市場化を支援した。

○　助成限度額：[事業化促進]３００万円以内　[市場化促進]１００万円以内
○　助　成　率：[事業化促進] 助成対象経費総額の２／３以内　[市場化促進] 同１／２以内
○　採 択 件 数：第１回　１６件（事業化　９件，市場化　７件）
　　第２回　　６件（事業化　５件，市場化　１件）
　　合　計　２２件（事業化１４件，市場化　８件）

平成２５年度 新事業創出チャレンジ企業支援事業　助成金採択一覧表

第１回（公募期間：H25.4.10～5.16）　　（順不同）

No.	事業区分	申請者名	所在地	事業概要
1	事業化	イワタ木工	廿日市市	広島の伝統工芸であるけん玉を海外普及させる
2	事業化	江田島オリーブ㈱	江田島市	江田島産のオリーブ果実を使用した国産オリーブ製品の商品化
3	事業化	㈱広洋電子	広島市西区	１６チャンネル同時･２ギガサンプリング／秒を実現する高速アナログボードコンピュータの試作
4	事業化	シグマ㈱	呉市	山積み小物部材の把持を可能にする多軸ロボット用の安価な三次元視覚センサの事業化
5	事業化	新中央工業㈱	東広島市	ペットボトルオープナーの商品化事業
6	事業化	㈲であい工房	廿日市市	車いすのタイヤ内の空気圧状態を監視する「空気圧表示器」の商品化
7	事業化	㈱ネクサス	山県郡北広島町	娯楽型認知症予防リハビリテーション支援システムの商品化
8	事業化	前　紅三子	広島市安佐南区	バス停案内システム
9	事業化	マザーアンドチルドレン	府中市	府中家具の特徴的な技術「突板」を使った雑貨商品の改善と拡充
10	市場化	㈱宇根鉄工所	広島市南区	津波・ゲリラ豪雨等による浸水被害を防止する水門・防水板の販売促進・販路開拓事業
11	市場化	㈱ケミカル山本	廿日市市	透過型電子顕微鏡観察に供する薄膜試料作製用電解研磨装置”エコポール”の市場開拓事業
12	市場化	㈱呉英製作所	東広島市	当社初の高品質，最高級な健康，美容，介護商品の販路拡大を目指す。
13	市場化	㈱フィゾニット	安芸郡 海田町	材料開発を効率化する結晶構造解析ソフトの販売促進
14	市場化	㈱松創	府中市	府中家具メーカーによる高級ジュエリーボックス販売促進事業
15	市場化	㈱松田製袋	広島市中区	キッズ楽書き工作キットシリーズの販路開拓
16	市場化	若葉家具㈱	府中市	kitoki ブランドで開発した「sandwich table」「W-chair」の販路開拓事業

第２回（公募期間：H25.7.16～8.5）　　（順不同）

No.	事業区分	申請者名	所在地	事業概要
1	事業化	アグサメタル㈱	福山市	エアー仕様の伸縮装置「ハイブリッド伸縮機械」の試作品作成
2	事業化	太洋電機産業㈱	福山市	ホットピンセットの新規開発の試作
3	事業化	㈱テイケン	呉市	Synergy wheel の大型化を可能にする新成形技術及び新接着技術の開発
4	事業化	㈱ＴＴＪ	広島市中区	希少な金の糸（ゴールデンシルク）の高付加価値商品開発事業
5	事業化	日本エコル合同会社	広島市安佐北区	ＳＡＳ（ソーラーアグリシステム）の事業化促進事業
6	市場化	㈱西条庭園	東広島市	個人向け小型「せせらぎ室内ビオトープ」のターゲットユーザー調査及び販売促進

【過去の支援企業の事業化件数及び助成事業に係る売上額】　　（調査:H26.5.31 現在）

交付年度	助成件数	事業化件数							助成事業分の売上額(千円)
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	合計	
H19 年度交付企業	9		1					1	74,042
H20 年度交付企業	１４		5	1	1			7	564,110
H21 年度交付企業	１３		4	2	2			8	739,763
H22 年度交付企業	２０			5	5	1		１１	689,753
H23 年度交付企業	２１				9	5	1	１５	795,067
H24 年度交付企業	１６					2	4	6	34,407
H25 年度交付企業	１９						2	2	20,200
合　計	１１２		１０	8	１７	8	7	５０	2,917,342

注：助成件数は，事業の中止・助成未実施（１０件)を除く。

⑥　広島県中小・ベンチャー企業成長支援事業　　（県，受 7,272 千円）

中小・ベンチャー企業の経営・技術等に関する課題に対して，次の支援を行った。

ア　中小企業診断士による窓口相談

（一社）広島県中小企業診断協会と連携した相談窓口の設置（週２日・午後１時～４時）

技術	会社設立	事業計画	取引販路	人事労務	資金	その他	合計
5	9	３４	２８	5	１１	２６	１１８

イ　広島市域一次相談窓口

公益財団法人ひろしま産業振興機構，公益財団法人広島市産業振興センター，広島商工会議所，広島県商工会連合会が連携した一次相談窓口を開設し，利用者のニーズに応じた情報提供や経営支援を実施した。（平成２５年９月３０日より運用開始）

【対象エリア】　広島市域

【相談内容例】　a.経営,経営革新，資金繰り　b.創業（新規創業，第二創業）

c. 販路開発，新商品開発　　d. 技術開発
e. 税務，法律，労務

【対応時間】　午前９時から午後５時まで（土日祝，年末年始除く）

ウ　専門家の派遣

中小企業等が抱える経営課題の解決のために専門家を派遣し，診断・助言を行った。

【登録専門家派遣の状況】

派　遣 企業数	派　遣 延件数	経営全般	技術	労務人材	ＩＴ関連	マーケティング関係	取引適正化	その他
5	１５	6	3	―	3	3	―	―

⑦　広島起業化センター運営事業　　（受，自 6,840 千円）

広島中央サイエンスパーク内のインキュベーション施設「広島起業化センター(クリエイトコア)」を運営し，入居者の起業化や会社立ち上がり時の支援等を行った。

【入居状況（平成 26 年 3 月末現在）】貸室数：８タイプ・２０室（３０㎡～７７㎡）

区分（床面積）	入居者	事業内容，開発テーマ等
１号室（77.0 ㎡）	㈱テック （二次電池素材の量産化）	二次電池用正極材料の量産化に向けた研究開発
２号室（76.0 ㎡）	㈱Ｔ＆Ｔイノベーションズ （二次電池素材の開発）	リチウムイオン二次電池用負極材料の研究開発
４号室（30.0 ㎡）	㈱ミハマ （介護用福祉機器の開発）	省力化及び自立支援機能付介護福祉機器の研究開発
５号室（35.0 ㎡）	エスアンドエー・ラボ㈱ （機器分析機の開発）	多次元ガスクロマトグラフ分析装置の開発
７号室(46.0 ㎡)	ＡＤＡＰＴＥＸ㈱ （制御システム開発）	化学プラントの生産効率を向上させるための，制御パラメーターチューニング技術をソフトウェアとしてシステム化する研究
12 号室(43.3 ㎡) 13 号室(43.3 ㎡) 15 号室(44.4 ㎡)	㈱生体分子計測研究所（バイオ関連）	ナノテクノロジーとバイオテクノロジーを組み合わせた独自技術による遺伝子自動検査装置開発
建物規模等：　鉄骨造２階建て（延床面積 1,454 ㎡），貸室　20 室（30～77 ㎡） 貸室料（１㎡あたり 2,100 円／月），商談・交流室２室(２階) 管 理 運 営：　(公財)ひろしま産業振興機構中小企業・ベンチャー総合支援センター（広島県産業科学技術研究所） 現在空き室：　１２室（３，６，８～11，14，16～20 号室）		

⑧　中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業

中小企業庁が開設した中小企業・小規模事業者のための支援ポータルサイト「ミラサポ」を通じて，中小企業と支援人材のマッチングにより高度で生きたノウハウを提供した。

ひろしま産業振興機構では，県内金融機関，公的支援機関等１９機関でコンソーシアムを組み，その代表機関として地域における中小企業支援機関の連携体である地域プラットフォーム「ひろしま中小企業支援ネット」を立ち上げ，連携した取組を実施した。

【構成機関】公益財団法人ひろしま産業振興機構，株式会社商工組合中央金庫，株式会社広島銀行，株式会社もみじ銀行，呉信用金庫，広島信用金庫，広島みどり信用金庫，広島県信用金庫，広島市信用金庫，広島県信用保証協会，しまなみ信用金庫，両備信用組合，備後信用組合，一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会，公益財団法人ちゅうごく産業創造センター，一般社団法人広島県中小企業診断協会，一般財団法人備後地域地場産業振興センター，公益財団法人くれ産業振興センター，広島大学

ア　国・公的機関等の中小企業支援施策の提供

メールマガジンの配信，ホームページへの掲載を行い，国・公的支援機関等の各種施策を分かりやすく提供した。

イ　登録専門家を派遣しての経営課題の解決

【専門家の派遣回数】　　３１９回

【主な経営課題の内容】　販路拡大，経営革新，ＩＴを使った経営力強化

ウ　地域プラットフォーム「ひろしま中小企業支援ネット」の連携推進

・ひろしま中小企業支援ネット連携推進会議の開催
・創業セミナーの共催
・ビジネスマッチングイベントの連携支援
・広島県技術・経営力評価事業の連携支援

(2) 技術・経営力評価の支援　　（県 14,786 千円）

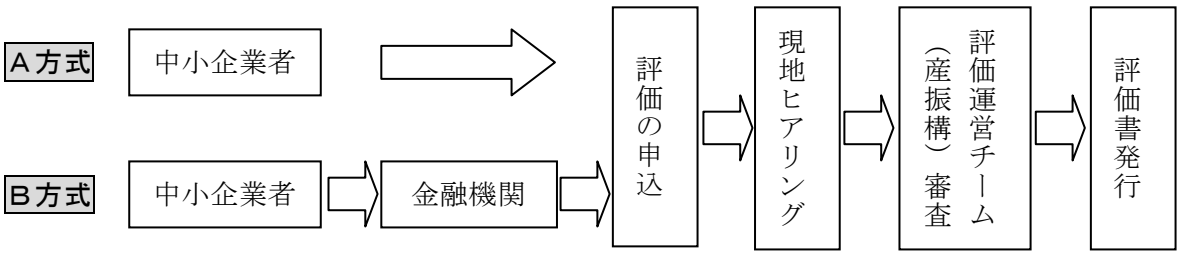
①　中小企業技術・経営力評価活用促進事業　　（県 11,973 千円）

中小企業者の技術力やノウハウ等の非財務情報をはじめ，成長性・経営力を評価した評価書を発行し，取引先に対する企業価値のアピールへの活用や円滑な資金調達のほか，明らかになった経営課題の解決を支援した。

【制度概要】

対　象	県内に事業所を有し，保証協会の保証対象業種に属する中小企業者
評価 手数料	手数料の半額を産振構が負担 標準評価型：5 万円　　オーダーメイド型：10 万円
評価項目	１．製(商)品・サービス：①新規性・独創性，②優位性とその維持・継続 ２．市場性･将来性：①市場規模・成長性，②競合関係 ３．実現性･収益性：①販売方法・販売価格，②生産・サービス体制， ③売上高・利益計画，④資金計画・資金調達力 ４．経営力：①事業遂行能力，②人材・組織体制
活用方法	１．第三者の客観的な評価による，自社の「強み・弱み」の確認 ２．取引先や金融機関等への「自社の魅力」のアピール資料としての活用 ３．県費預託融資制度の活用及び信用保証料の減免（△0.1%） ４．評価結果を踏まえた，他の制度の活用促進による課題解決支援
制度開始	平成 25 年７月１日

【評価書発行までの流れ】



【申込状況（平成 26 年 3 月末現在）】

区　　分		件数	評価タイプ		申込方式	
内訳	製造業	7件	標準	7件	A 方式	1件
			ｵｰﾀﾞｰﾒｲﾄﾞ	0件	B 方式	6件
	卸・小売業	3件	標準	3件	A 方式	1件
			ｵｰﾀﾞｰﾒｲﾄﾞ	0件	B 方式	2件
	サービス業	1件	標準	1件	A 方式	0件
			ｵｰﾀﾞｰﾒｲﾄﾞ	0件	B 方式	1件
	その他	2件	標準	2件	A 方式	0件
			ｵｰﾀﾞｰﾒｲﾄﾞ	0件	B 方式	2件
合　　計		13件	標準	13件	A 方式	2件
			ｵｰﾀﾞｰﾒｲﾄﾞ	0件	B 方式	11件

② 知的資産経営セミナーの開催　　（県 2,813 千円）

自社の優れた知的資産（技術，組織力，経営理念，ブランド，顧客とのネットワーク等）を把握し，ステークホルダーに周知する手段となる知的資産経営報告書の作成支援等のためのセミナー（企業向け啓発・専門セミナー等）を開催した。

【中小企業者向け】

回次	開催形態	開催日	開催地	共催機関	参加企業（者）数
1	専門セミナー（作成講座）	H25.6.22 H25.7.13 H25.7.27	呉市	呉信用金庫	9社（13名）
2	専門セミナー（作成講座）	H25.9.4 H25.9.11 H25.10.9	広島市	広島銀行，県信用保証協会	8社（12名）
3	啓発セミナー	H26.1.15	広島市	もみじ銀行 山口銀行	50社（52名）
4	専門セミナー（作成講座）	H26.1.29 H26.2.19 H26.2.26	広島市	もみじ銀行 山口銀行	6社（11名）
計					73社（88名）

【金融機関職員向け啓発セミナー】

回次	対象金融機関	開催日	開催地	参加者数
1	広島銀行	H26.2.22	広島市	１１５名
2	呉信用金庫	H26.3.1	呉市	３０名
3	しまなみ信用金庫	H26.3.11	三原市	２５名
4	しまなみ信用金庫	H26.3.13	福山市	３６名
計				２０６名

(3) 知財活用の支援（広島県中小企業知財支援センターの運営事業）　（17,929 千円）

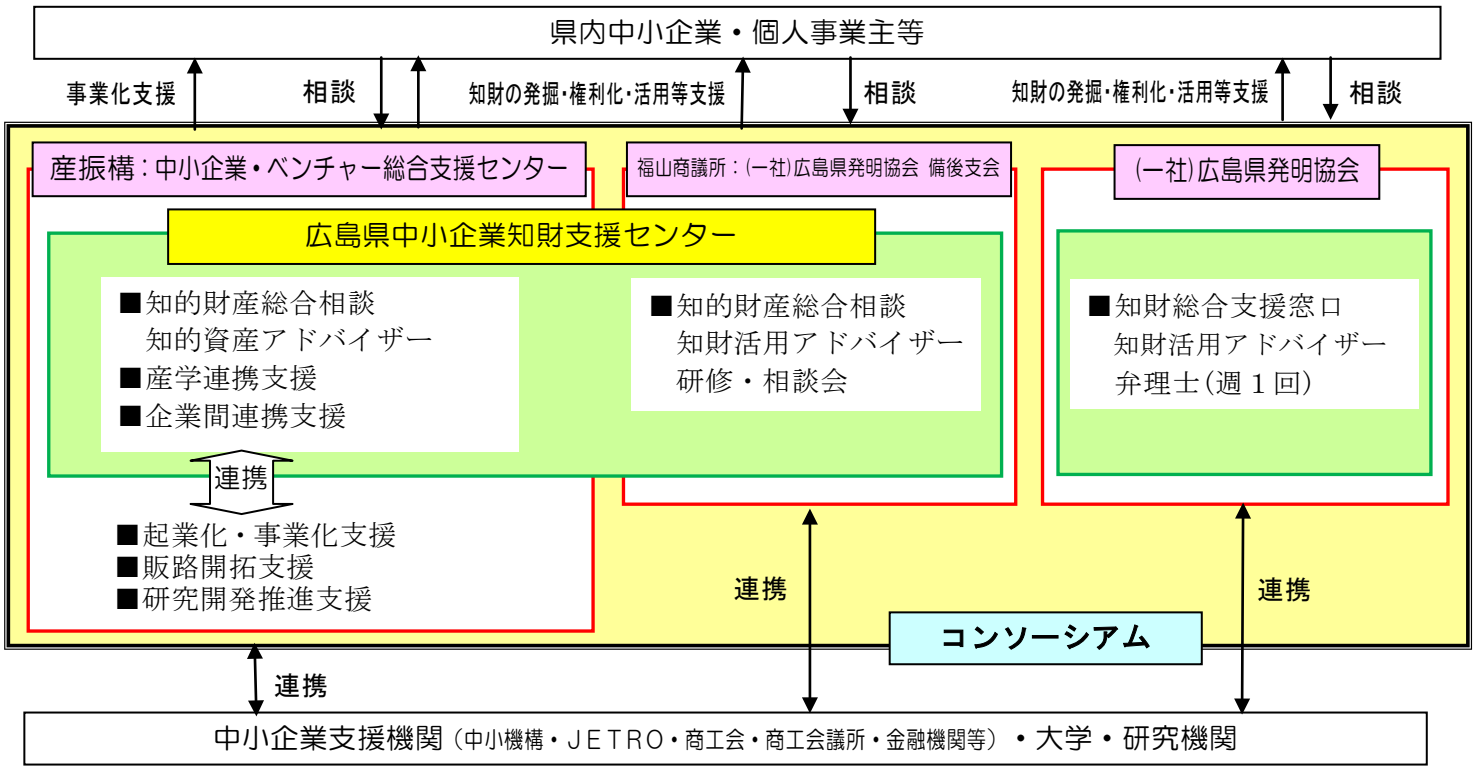
一般社団法人広島県発明協会とコンソーシアムを形成し，経済産業省及び県の事業の活用により，産振構に「広島県中小企業知財支援センター」を設置し，県内中小企業等に対する知財のワンストップサービスを実施した。

①　知財総合相談の実施　（県 6,350 千円）

センターでは，中小企業の知財の発掘・権利化・活用支援等により，中小企業等が企業経営の中で抱える知財に関する悩みを解決するとともに，産振構の他の支援事業等と連携することにより，知財を活用した事業化を促進した。

【主な支援内容】
- 中小企業等の企業経営における知財活用意識の動機付け
- 知的財産に関する各種支援施策の紹介
- 窓口及び訪問相談による中小企業の知財の権利化・活用支援
- 大学等研究機関とのマッチング支援
- 模倣品，侵害訴訟対応支援　など

【事業スキーム】



【知財総合相談件数（平成２６年３月末）】

■上期相談対応件数（延べ数）　１，９２４件　※電話相談等を含む

■うち産振構対応部分（県受託事業）の進捗

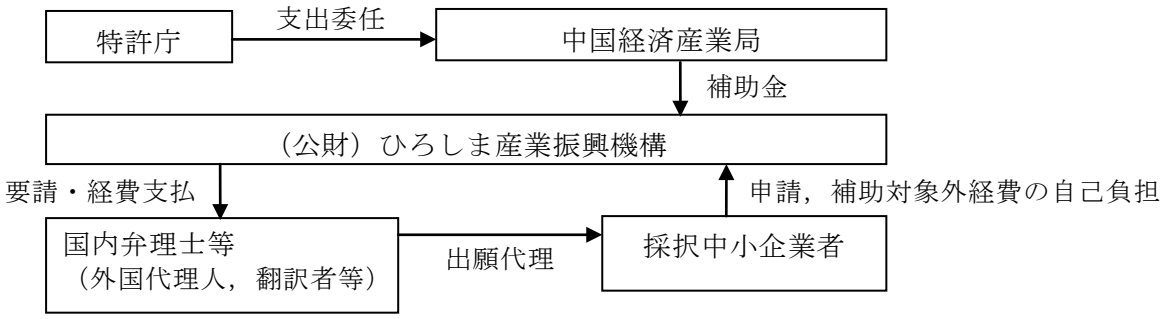
	企業面談件数（延べ数）	相談案件数（実数）	活用提案数	事業化数
目　標	２５０件	１００件	１５件	３件
３月末実績	２０７件	１９９件	３０件	３件
進捗率	８２．８％	１９９．０％	２００．０％	１００．０％

② 外国出願支援　（国 11,579 千円）

中小企業者の戦略的な外国への特許出願等を促進するため，平成 23 年度から，国の補助事業により，外国出願に要する経費の一部を助成している。

今年度は５月～７月にかけて一次公募を，９月～１０月に二次公募を行った結果，１８社・者（延べ２６社・者）を採択した。

【事業スキーム】



【助成件数（平成 26 年 3 月末現在）】

申請企業数（延べ）	採択企業数（延べ）	助成決定額
２６社・者 （１８社・者）	２６社・者（１８社・者） （内訳：特許１３社，商標１２社・者 冒認商標１社）	１１，５７９千円

※　冒認商標出願とは，日本国において既に出願又は登録済みの商標に関する第三者による抜け駆け出願をいい，平成 25 年度から国の補助事業の対象となっている。

２　産学官連携の強化　（423,588 千円）

産学官連携による協同体制を構築して，今後進展する事業分野での基礎的・先導的研究開発を推進するとともに，地元企業のもつ独自技術の高度化につながる共同開発への支援や特許流通などの経営資源の双方向での活用促進など，新産業の創出及び既存産業の高度化を図るための幅広い支援活動を推進した。

(1) 産学官プロジェクト研究の推進　（102,195 千円）

県内産業の創造的発展を支援するため，広島県産業科学技術研究所において，地域への波及効果が極めて高い研究課題について，産学官の英知を結集したプロジェクト研究に取り組む。

当研究所において取り組むべき研究開発分野は，「バイオ・健康・ライフ」，「材料・エコシステム」と「情報・知能」の３分野としている。

①　基金プロジェクト研究の推進　（基金果実　10,887 千円）

平成２３年度開始のものづくり産業高度化の基盤技術となる研究開発「難加工材レーザ援用先端加工プロジェクト」を基金事業として実施した。

難加工材レーザ援用先端加工プロジェクト　（基金果実　11,227 千円）

※ 固定資産取得分 340 千円含む

プロジェクトリーダー	広島大学大学院 工学研究院 材料・生産加工部門 教授　篠崎賢二
研究テーマ	レーザ熱源を利用した高機能難加工材の先端加工システムの研究開発
研究成果	・溶接技術（厚板）では，融合不良や割れ等が大幅に抑制される成果が得られた。 ・逐次張出成形では，マグネシウム合金での成形性向上や残留応力低減の効果があることが明らかになった。 ・切削技術では工具寿命の延長，被削性の改善等の成果が得られている。
今後の展開	参画企業により引き続き実用化に向けた取組みを行っていく予定
研究期間	平成２３年４月～平成２６年３月（３年間）
推進体制	７機関（産５，学１，官１）

②　科学技術促進事業　（基金果実，特許等収入　7,410 千円）

プロジェクト研究等において実用化の可能性のある研究成果の権利化を図るとともに，地域の科学技術振興に資する事業を実施した。

③　広島県産業科学技術研究所運営事業　（県　83,898 千円）

産学官協同体制により，基礎的・先導的分野の研究開発を推進するため，県から指定管理者の指定を受けて広島県産業科学技術研究所を管理・運営した。

ア　企画評価委員会

回　次	内　容
第１回 (H26.2.21)	・難加工材レーザ援用先端加工プロジェクトの進捗状況について審議

イ　広島中央サイエンスパーク研究交流推進事業

広島中央サイエンスパーク内に立地する研究機関（12 機関）と研究支援機関等により設置した「広島中央サイエンスパーク研究交流推進協議会」において，研究交流や施設公開等を実施し，県内産業への技術波及などの推進を図った。

（施設公開）

開　催　日	平成 25 年 10 月 25 日(金) 10:00～16:00
施設公開機関	11 機関
記念講演会	演題：コンピュータの進歩：昨日，今日，明日 講師：広島市立大学大学院　情報科学研究科　教授　大場　充 氏 場所：中国電力(株)エネルギア総合研究所「会議棟」

(2)　研究開発の支援　（312,874 千円）

既存企業が保有するコア・コンピタンスの高度化と，それを核とする新分野進出，ベンチャー企業の育成など新事業創出の加速化を図るため，商品化及び事業化のための産学官共同研究を積極的に支援した。

特に，国庫補助事業においては，産学官連携による共同研究体を委託（助成）対象とした産学官連携研究開発制度に応募し，採択となった事業について管理法人等として実用化・事業化に向けて積極的に事業推進を図った。

①　自動車関連産業クラスター支援事業　（県，受 33,423 千円）

本県の基幹産業である自動車産業の持続的な発展のため，県と連携した戦略的な支援体制を整備し，次世代の自動車社会に対応した技術開発や自動車の更なる高付加価値化等への取組みを支援した。

カーテクノロジー革新センターの運営

グローバル競争に勝ち抜く企業への成長を通じて県内自動車関連産業のサプライチェーンと雇用を維持することを新たな目的に，「カーエレクトロニクス推進センター」を「カーテクノロジー革新センター」として発展的改組し，自動車メーカーや自動車部品メーカーの「電動化」・「知能化」・「軽量化」・「製造技術」・「医工連携」に関する技術領域を対象に，県内での事業化が期待される研究開発（技術革新）を総合的に支援している。

○　コーディネーター等の配置

センターにコーディネーターを配置し，企業ニーズの把握，研究課題の抽出，企業連携の推進，競争的資金の獲得支援等を行った。

また，「人間医工学を応用した自動車研究開発」の取組みを推進するため，専任の職員を配置した。

〔コーディネーターによる競争的資金の獲得支援の状況〕

研究開発助成金等への提案	採択件数
広島県次世代ものづくり技術開発支援補助金	5 件
広島県 F/S 研究開発補助金	3 件

○　カーテクノロジー革新研究会の運営

本県に幅広く集積する自動車部品メーカーを中心に構成されていた「戦略的産業活力活性化研究会」を，「カーテクノロジー革新研究会」に改編し，自動車分野における将来ニーズや地域で取り組むべき課題の明確化と共有化，事業化を見据えた地域企業の技術開発の支援に取り組んだ。

平成２５年度の取組みとしては，県内に本拠地を置くカーメーカーであるマツダ㈱の全面協力のもと，産学官協同で将来の社会動向から必要な技術を検証し，約２年ぶりとなる同社の技術ニーズ発信会を開催した。これらのニーズを中心に地場部品メーカー等のシーズとのマッチングを図り，取り組んでいくべき研究開発テーマの組成とその支援を行っており，今後もこの活動を継続していく。

さらに，地場部品メーカーの新技術の創出を支援するための施策として，技術の探索活動を促進するための新技術トライアル・ラボ設立に向けた検討に取り組んだ。

また，最新の技術動向などに係る講演会等の開催や販路拡大支援など，情報・成果発信活動も実施した。

〔会員数の状況〕

区　分	参画機関			
	産	学	官等	合計
カーテクノロジー革新研究会	１６３	１１	１６	１９０

〔講演会等開催状況〕

開催日	内　　容	参加数
H25.8.22	第１回講演会『マツダ㈱技術ニーズ発信会』 基調講演：「今後の自動車開発と求められる技術」 マツダ㈱　常務執行役員　素利　孝久　氏 技術ニーズ発信 ・次世代パワーソース技術分野 マツダ㈱　技術研究所　主幹研究員　宮内　俊二　氏 ・次世代安全・快適技術分野 マツダ㈱　技術研究所　主幹研究員　西川　一男　氏 ・次世代軽量化技術分野 マツダ㈱　技術研究所　主幹研究員　杉本　幸弘　氏 （中国経済産業局，一般社団法人ひろぎん経済研究所と共催）	208名
H25.10.10	キーテクノロジー研究活動『マツダ㈱向け技術シーズ提案会』 マツダ㈱研究開発担当者との個別面談 （中国経済産業局，一般社団法人ひろぎん経済研究所と共催）	申込数32社・団体
H25.10.21	第２回講演会 技術講演①：「製造ラインのフレキシブル生産システム～商品変化対応と品質・生産性向上実践技術～の紹介」 元マツダ㈱常務執行役員技術本部長　　龍田　康登　氏 技術講演②：「球面モータの構造と多自由度アクチェータ技術～１台で肩関節のような動きをする球面モータ～の紹介」 近畿大学次世代基盤技術研究所研究員（博士）　矢野　智昭　氏 （東広島商工会議所次世代研究会との共催）	73名
H25.11.18	第３回講演会 講演①：「カーエレクトロニクス・サプライヤーの市場競争環境と取引環境の動向」 名古屋学院大学商学部　講師　佐伯　靖雄　氏 講演②：「デジタルエンジニアリングの企業での活用事例」 スズキ㈱　技術管理部　開発プロセス改革担当部長 倉田 効市朗 氏	62名

開催日	内　　容	参加数
H25.12. 9	特別講演会『マツダ㈱技術ニーズ発信会』（東広島） 基調講演：「常識への挑戦　SKYACTIV TECHNOLOGY」 マツダ㈱　執行役員　人見　光夫　氏 マツダ㈱技術ニーズ発信 マツダ㈱　技術研究所　副所長　高見　明秀　氏 同　　主幹研究員　杉本　幸弘　氏 （東広島商工会議所次世代研究会との共催）	82名
H26. 2.14	キーテクノロジー研究活動『マツダ㈱向け技術シーズ提案会』（第２回） （マツダ㈱本社） マツダ㈱研究開発担当者との個別面談	8社・団体
H26. 2.25	キーテクノロジー研究活動『部素材シーズ技術発信会』（広島） 九州大学における産学連携の取組紹介 九州大学　産学連携本部　研究推進グループグループ長・准教授　山内　恒　氏 部素材シーズ技術紹介 ・「スマートラバー技術の紹介」 東海ゴム工業㈱　新事業開発部ＳＲ研究室　担当課長　吉川 均　氏 ・「機能性コーティング材料（HYPERTECH®）について」 日産化学工業㈱　新事業企画部　主席　大土井 啓祐　氏 ・「スーパーグロースカーボンナノチューブの用途展開」 日本ゼオン㈱　新事業開発部　ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾘｰﾀﾞｰ　上島　貢　氏 ・「温間プレスに優れる表面処理技術の紹介」 東洋鋼鈑㈱　マーケティング部　副主事　吉岡　興　氏 ・「熱電変換モジュールの紹介」 ﾊﾟﾅｿﾆｯｸﾌﾟﾚｼｼﾞｮﾝﾃﾞﾊﾞｲｽ㈱　環境ﾃﾞﾊﾞｲｽ開発ﾁｰﾑ　ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ　加納　久詞　氏	38名

〔展示商談会出展支援〕

開催日	展示商談会名称	開催場所	出展支援企業	
			企業数	技術提案
H26. 2.20	中国地域・九州地域 新技術・新製品展示商談会 ～ホンダ展示商談会～ （中国/九州経済産業局補助事業）	㈱本田技術研究所 四輪 R&D センター （栃木県）	13 社	26 ﾃｰﾏ

○　ベンチマーキングセンターの運営

自動車部品サプライヤー等における部品開発の基礎となる他社技術の動向把握や応用活用等を支援するため，県が整備する共同利用型ベンチマーキングセンターを運営している。

〔平成 25 年度ベンチマーキング活動状況〕

ベンチマーク車両	ベンチマーク期間
ホンダ　N-ONE	H25.7.16～H25.8.2
スズキ　ワゴン R	H25.10.15～H25.10.30
ホンダ　アコード・ハイブリッド	H26.1.14～H26.1.30

②　競争的資金獲得及び研究開発支援事業（サポイン事業）　（国 113,255 千円）

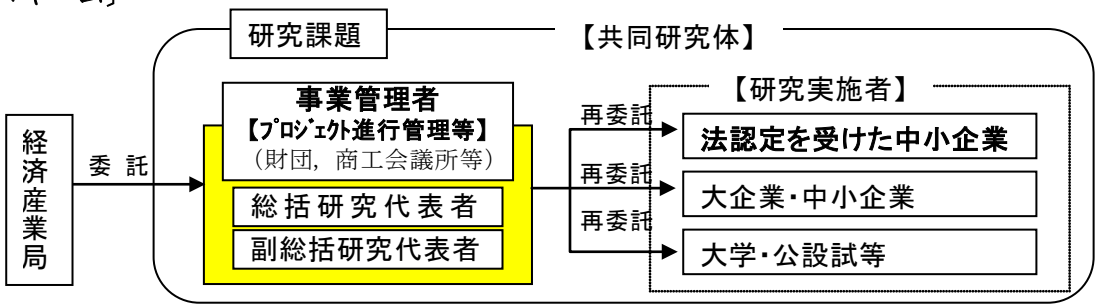
（経済産業省：提案公募型研究開発事業）

中小企業のものづくり基盤技術に資する革新的，かつ，ハイリスクな研究開発等を促進することを目的とし，高度の「ものづくり基盤技術」を持つ中小企業（川上中小企業者）と最終製品を提供する大企業等（川下製造業者等）との密接な連携（摺り合わせ）により，「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づき定められた特定ものづくり基盤技術高度化指針に沿って策定され，認定を受けた特定研究開発等計画の研究開発について，事業管理機関として研究全体の統括，プロジェクトの管理運営を行った。

〔対象基盤事業〕

特定ものづくり基盤技術（22分野）
組込みソフトウェア，金型，電子部品・デバイスの実装，プラスチック成形加工，粉末冶金，溶射，鍛造，動力伝達，部材の結合，鋳造，金属プレス加工，位置決め，切削加工，繊染加工，高機能化学合成，熱処理，溶接，めっき，発酵，真空の維持に係る技術，冷凍空調，塗装に係る技術

〔制度スキーム〕



〔（継続）平成２３年度に採択された研究開発テーマ（当初予算事業）〕

次のテーマは，研究開発の最終年度で，事業化に向けた研究開発を実施している。概ね計画どおり研究は進んでおり，下半期は研究開発成果のとりまとめ，事業化計画の検討を行った。

研究開発テーマ【基盤技術】	研究内容	研究実施者	研究期間
低燃費化を可能にする超耐熱，高強度中空化樹脂製冷却部品の開発 【プラスチック成形加工】	環境問題から自動車の低燃費化のニーズは一段と高まってきている。本研究では，広島大学との共同研究と先行技術開発で得られた知見により，プラスチック成形技術の高度化を図り，中空化一体成形を可能とし，これまで実現できなかった超耐熱，高強度なエンジン部品の樹脂化を図る。現在のアルミ製から可変流量を織り込んだ業界初の樹脂一体成形による冷却系部品（ウォーターポンプ他）を開発し低燃費化，軽量化を低価格で実現する。	㈱久保田鐵工所，㈱広島金型，広島大学〔大学院工学研究院〕	３年間（H23.9 ～ H26.3）

研究開発テーマ 【基盤技術】	研究内容	研究実施者	研究期間
産業用移動機械向けに低価格で実現する高精度マシン制御システムの開発 【組込みソフトウェア】	国土交通省では，直轄の道路土工等の工事について，平成２４年度までにＩＣＴを活用した「情報化施工」が標準的な施工管理方法となるため，ブルドーザ等の産業用移動機械では，高精度測位システムの低価格化が，川下企業から強く求められている。本研究では，１周波ＲＴＫ－ＧＰＳシステムと後付け型１周波ＧＰＳとジャイロのみによる低価格モーションセンサの開発により，高精度測位システムが従来機の５分の１以下の価格で販売可能となる。また，道路等３次元ＣＡＤ／ＣＡＭと同システムの導入により，川下企業の短納期・高品質化技術が可能となる。	㈱三英技研，日本システムデザイン㈱，神戸大学〔大学院海事科学研究科〕，（独）産業技術総合研究所〔知能システム研究部門フィールドロボティクス研究グループ〕，（独）国立高等専門学校機構熊本高等専門学校	３年間 (H23.8 ～ H26.3)
ＳｉＣ基板向け大気圧プラズマ熱処理装置の開発と非接触基板温度測定装置の開発 【熱処理】	自動車・家電・産業用モータ等に，現在シリコンパワー半導体がインバータとして使われているが発熱損失が大きい。次世代ＳｉＣ（炭化珪素）基板は，低損失性，耐電圧が共にシリコン基板より１０倍優れているが，素子製造工程における熱処理が従来より千℃も高い２千℃近くを必要とする。本研究では，炉に代えて熱源温度１万℃の大気圧熱プラズマをＳｉＣ基板に直接噴射して急速加熱する省電力熱処理装置を開発し，電力ロスが極めて少ないＳｉＣパワー半導体を普及させることで，社会の省エネルギー化に貢献する。	ローツェ㈱，㈱アドテックプラズマテクノロジー，広島大学〔ナノデバイス・バイオ融合科学研究所〕	３年間 (H23.8～ H26.3)
建設機械及び自動車用ﾊﾞｲｵﾃﾞｨｰｾﾞﾙ燃料性状ｾﾝｻｰの開発 【組込ソフトウェア】	CO2 削減に有効なバイオディーゼル燃料は，FAME(脂肪酸メチルエステル)を含み，排ガス環境規制で進化した精緻な高機能エンジンや排ガス処理システムでは鉱物油への多量の添加は難しいとされている。本開発研究は，バイオディーゼル混合軽油の濃度と品質の双方を特定するセンサーを開発することにより，最適なエンジンの燃料の制御や故障防止にフィードバックするシステムの開発に寄与することを目的とする。	㈱サンエー ㈱高崎共同計算センター 広島県立総合技術研究所	２年間 (契約締結 ～H26.3)

〔（新規）平成２５年度に採択された研究開発テーマ〕

多チャンネル信号入出力と信号再現を可能とするマルチ・ハイスピードデータロガーの開発 【組込ソフトウェア】	高速信頼性確保とカーエレクトロニクスの高度化に伴い，多機能センサを活用した高知能化電子制御システムの開発を展開している中で，多数のセンサから膨大な情報信号をリアルタイムで高速に取り込み，処理する計測装置の実現が喫緊の課題である。本研究は，従来の性能を凌駕する革新的なマルチ・ハイスピードデータロガーとセンサ信号の再現機能を備えた新技術を確立し，先ずは特定の自動車メーカーのニーズに応え，全自動車産業界への波及を目指す。	㈱広洋電子 ㈱石井表記 公立大学法人広島市立大学 広島県立総合技術研究所	２年間 (契約締結 ～H27.3)

③　医工連携推進事業　（127,771 千円）

ものづくり技術と医療・福祉・健康分野の研究資源を結合させた新たなビジネスモデルの創を図るため，国及び県の支援を受け，医工連携による研究開発や事業展開に対する支援を行った。

○　地域イノベーション戦略支援プログラム事業　（国 16,271 千円）

【総合調整機関】

地域イノベーション戦略支援プログラム（文部科学省補助事業）における総合調整機関として事業全体の総合調整を行った。

また，地域イノベーション戦略推進の取組状況の確認や方向性の決定等を行う「ひろしま医工連携イノベーション推進協議会」（産学金官で構成）を開催した。

	第１回	第２回
日時	平成 25 年 9 月 30 日（月）15：00～	平成 26 年 3 月 28 日（金）10：00～
場所	メルパルク広島　桜の間	県庁北館　４階 第一委員会室
議事	①「地域イノベーション戦略支援プログラム（文部科学省補助事業）」の平成 24 年度実施状況と平成 25 年度実施計画について ②ひろしま医工連携イノベーション事業の課題と今後の対応について	①「地域イノベーション戦略支援プログラム（文部科学省補助事業）」の中間評価結果について ②「地域イノベーション戦略支援プログラム（文部科学省補助事業）」の平成 26 年度補助金交付申請と平成 26 年度実施計画について ③「地域産学官共同研究拠点整備事業」により整備した研究機器の無償譲渡について

【大学等の知のネットワーク構築事業】

地域連携コーディネータ（人間医工学次世代自動車担当，医療関連機器担当各１名）を配置し，各大学の医学・工学系研究者や関係機関のコーディネータ等と連携を図りながら，自動車関連メーカーとその関連企業，医療機器・部材関係企業などと大学研究者が円滑に製品開発に向けた共同研究を実施できる体制づくりなど，医工連携による新たな製品・ビジネスモデルの開発に繋がる取組の支援を行った。

【中間評価】

平成 23 年度に採択を受けてから３年目を迎えた地域を対象として，平成２５年度に実施された中間評価において【Ａ判定】を受け，引き続き平成２７年度末まで取組みを実施する。

評価結果	Ａ	ひろしま産業振興機構を中心に地域の産業構造の変化を見越し，地域の企業ニーズを意識して，事業転換や新事業創出を意図した良くまとまったプログラムと評価できる。 今後は，国，産業界，金融からの資金も取り込み，医工連携をベースとした次世代自動車や高機能ものづくりにおいて持続的・発展的な中四国のイノベーション拠点として発展していくことが期待される。

※対象 13 地域中，【Ｓ判定】0 地域，【Ａ判定】9 地域，【Ｂ判定】4 地域，【Ｃ判定】0 地域

○　医療関連産業クラスター形成事業　　（県，受 38,176 千円）

平成２３年１１月に設立した「ひろしま医療関連産業研究会」（会員数２６３（うち企業２２５，大学等１１，支援機関他２７）H２６．５．１５現在）を運営し，医療関連分野における県内企業の新たな研究開発や事業展開を目指した取組みを支援した。

新規参入支援に加えて，医療現場等における課題・ニーズを会員企業に提供してマッチングを図ることにより，製品化や競争力強化に繋げる取組みとして各種セミナーを開催した。

販路開拓支援事業として，「MEDTEC Japan 2013」，「ニプロ㈱における技術展示会」及び「メディカルクリエーションふくしま２０１３」への会員企業の共同出展の支援を行った。

また，企業の課題に応じた専門家アドバイザーの派遣等を実施したほか，補助金申請に向けた事前指導を産振構が行うこととされている広島県の補助制度「ひろしま医療関連産業創出支援事業費補助金（※）」について，補助金申請企業への指導，助言や採択後のフォローアップを実施した。

※「ひろしま医療関連産業研究会」会員企業が，医療機器等の製品化・事業化のための研究開発等を行う経費の一部を広島県が補助

	１次募集（６月）	２次募集（９月）	３次募集（12 月）	合　計
申　請	12 件	５件	２件	19 件
採　択	４件	２件	１件	７件

〔セミナー等開催状況〕

【第１回セミナー】

開催日	内　　容	参加者
H25.5.9	開催場所：ホテル広島ガーデンパレス 「医療機器開発における下請けからの脱却企業と大企業の挑戦との相違点と生みの苦悩」～第１・第２回講演を通じて医療機器開発を推進した広島企業事例報告～ 九州大学先端医療イノベーションセンター 教授 大平 猛	85 名

【備後地域産学官連携フォーラム～医療･福祉･保健等分野における産学官連携の創出～】

開催日	内　　容	参加者
H25.7.1	開催場所：福山大学 宮地茂記念館 ①「モノ作りのための理学療法学の視点」 県立広島大学 保健福祉学部 理学療法学科 教授 金井 秀作 ②「健康機器開発における課題と展望」 広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 教授 浦辺 幸夫 ③「介護技術を向上させるための周辺機器のアイデア」 福山平成大学 福祉健康学部 准教授 藤井 宏明 ④「微生物を用いた効率的蛋白質生産方法」有限会社ジャパン・ラム 佐藤 真也 ⑤「医療機器の電磁波ノイズ試験について」 広島県立総合技術研究所 東部工業技術センター 副主任研究員 宮野 忠文 ⑥「超音波画像解析によるサルコペニアの発生要因の推定 福山市立大学 都市経営学部 都市経営学科 准教授 宮本 賢作 ⑦「食後の血糖上昇を穏やかにする米成分」福山大学 生命工学部 教授 井ノ内 直良 ⑧「茶のクリーミングダウン現象のメカニズムの解明」福山大学 薬学部 助教 堤 広之 ⑨「凍結含浸法を使った介護用食品及び新食感食品の開発」 株式会社クニヒロ 商品企画開発部 林 弘己	78 名

【第２回セミナー】

開催日	内　　容	参加者
H25.12.19	開催場所：サテライトキャンパスひろしま ①「薬事法改正の動向とその対応ついて」 ケイ･アンド･ケイ ジャパン株式会社　代表取締役　久保田 博南 ②「医療・介護分野におけるアジア市場の展望，事業機会」 株式会社日本総合研究所　社会･産業デザイン事業部 ヘルスケア･イノベーショングループ シニアマネージャー　南雲　俊一郎 ③「台湾訪問調査を踏まえた今後の展開について」 広島県商工労働局医工連携推進プロジェクトチーム　参事　井上　太郎 公益財団法人ひろしま産業振興機構　地域連携コーディネーター　小田　一幸	60 名

【臨床工学技士会・理学療法士会のニーズ発表会】

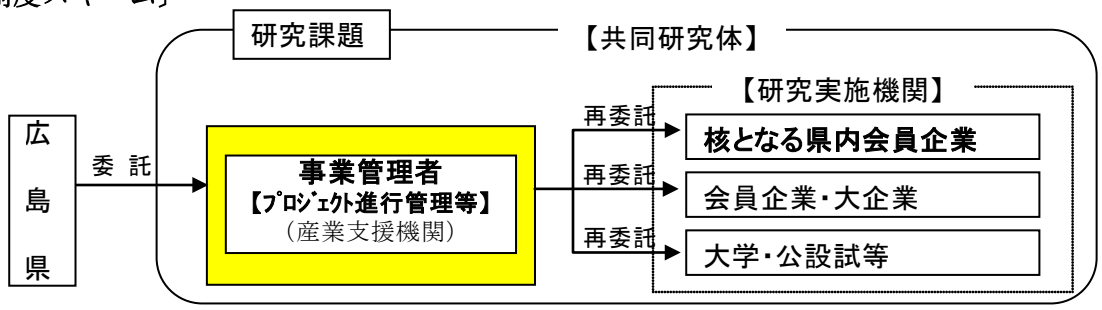
開催日	内　　容	参加者
H26.3.18	開催場所：ホテルグランヴィア広島 （臨床工学技士会） ①「超音波エコー操作機能追加」医療法人社団スマイル　博愛クリニック　細木 貴司 ②「遠心分離法を利用した腹水ろ過濃縮」JA 尾道総合病院　山中　啓美 ③「呼吸回路外れ警報装置」広島大学病院　宮本　聡史 ④「ペースメーカ患者情報データベースの開発」広島大学病院　松本　和希 ⑤「人工肺への酸素流量・濃度測定モニタリング装置」広島大学病院　岡原　重幸 ⑥「病室音監視システム」広島大学病院　高橋　秀暢 ⑦「潤滑剤供給システム」吉島病院　河原　聖志 ⑧「Wearable Device 向け WEB アプリケーションの開発」南海田病院　宗像　大輔 ⑨「フットケア用カバー」医療法人中央内科クリニック　平岡　修 ⑩「血液ポンプのオクリュージョン簡素化」医療法人中央内科クリニック　伊豆本 勇樹 （理学療法士会） ①「専門職コメント機能付き福祉用具・リハビリ機器のポータルサイト開設」 広島市総合リハビリテーションセンター　甲田　宗嗣 ②「理学療法的視点から車椅子等坐位姿勢保持をサポートするクッション」 医療法人宗斉会須波宗斉会病院　中川　貴雄 ③「①3 層式スライディンググローブ ②6 輪型ポータブルトイレ ③吊革式てすり 医療法人広島南診療所　片山　旭	54 名

○　医療・福祉課題解決に向けたデバイス開発パイロット事業　（県 73,324 千円）

（広島県：提案公募型研究開発事業）

広島県から採択を受けた，県内における医療機器等の開発・改良につながる要素技術の確立，試作品製作，臨床試験等に係る共同研究開発プロジェクト（ひろしま医療関連産業研究会会員企業が主体）について，事業管理者として研究全体の統括，プロジェクトの管理運営を行った。

〔制度スキーム〕



〔平成 24 年度からの継続研究開発テーマ〕

研究開発テーマ	研究実施機関	研究期間
小型・超広視野カメラを搭載した内視鏡外科手術用モニタリングシステム及びフレキシブルな形状を持つ内視鏡外科手術用カメラロボットの開発	シャープ㈱，広島大学，広島市立大学	３年間 (H24.12～ H27.3)
医療用インプラントへの高品質 DLC 成膜技術の開発	トーヨーエイテック㈱，広島大学，広島県立総合技術研究所〔西部工業技術センター〕	３年間 (H24.12～ H27.3)

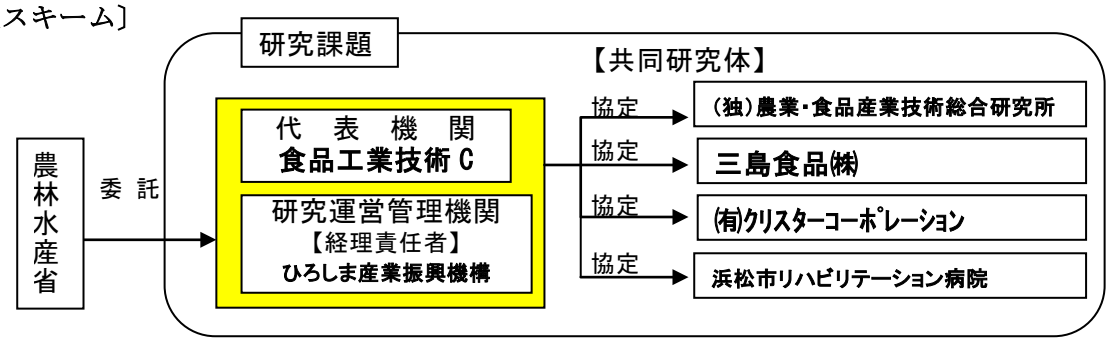
〔平成 25 年度からの新規研究開発テーマ〕

研究開発テーマ	研究実施機関	研究期間
放射線治療装置の照射野最適化を実現する高精度マルチリーフコリメータ（MLC）の開発	三菱重工業㈱ ㈱積進	３年間 (H25.6～ H28.3)
舌圧測定・トレーニング一体型デバイスの開発	㈱ジェイ・エム・エス 国立大学法人広島大学	３年間 (H25.6～ H28.3)

④　農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業　（国　29,284 千円）

農林水産・食品産業の現場の多様なニーズに対応した実用技術の開発を推進するために，現場の課題解決を早急に図る必要性が高く出口が明確化された研究課題を対象とする公募事業に１件が採択され，研究運営管理機関としてプロジェクトの運営管理を行った。

〔事業スキーム〕



研究開発テーマ	研究内容	参画メンバー	研究期間
凍結含浸法を利用した常温流通可能な形状保持軟化介護食の製造技術の開発	常温流通（容器詰殺菌食品，乾燥食品）且つ長期保存が可能で低コストな形状保持軟化食品の製造技術の開発と商品化を目指すため以下の4項目を実施。 1. 硬質容器詰め凍結含浸介護食品の製造技術開発 2. 凍結含浸を利用した乾燥食品の製造技術開発 3. 物性評価及び医学的臨床所見を根拠とした介護食品としての適性評価 4. 普及支援業務	食品工業技術研究所(代表機関)，㈲ｸﾘｽﾀｰｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ，三島食品㈱，食品総合研究所，浜松市ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院，（公財）ひろしま産業振興機構	3年間 (H25.8～H28.3)

本財団では，研究運営管理機関としての役割以外に，「“バリアフリー食”凍結含浸ワークショップ」や「フードテクノひろしま」といった既存の研究会やメディケアフーズ展等の各種展示会を通じて参画企業の取り組み紹介や，新規参入企業の募集，市場調査コンサルタント等の連携により普及支援を行った。

⑤ 広島県次世代ものづくり技術開発支援補助金事業管理機関受託事業　（県　3,882千円）

広島県の「広島県次世代ものづくり技術開発補助金」の交付対象となっている研究開発テーマについて，事業管理機関として進行管理等の支援を行った。

研究開発テーマ	代表事業者	開発グループ構成者
次世代バッテリパックシステムの開発	ダイキョーニシカワ㈱	・㈱今仙電機製作所 ・広島大学
低燃費冷房システムの開発	㈱日本クライメイトシステムズ	・近畿大学工学部
高張力鋼板向けプレス金型用次世代アンダーカット成形技術の開発	㈱テクノクラーツ	・㈱ワイテック ・(公財)広島市産業振興センター

⑥ 新商品・新サービス開発支援事業　（国，受　5,259千円）

中小企業・小規模事業者と地域振興等機関としての本財団が連携して，試作品開発を行った。

研究開発テーマ	連携企業
押出し一体成形クラッチハブスリーブの開発	株式会社音戸工作所

(3) 広域的な連携 （6,305 千円）

企業立地促進法に基づき，市町村及び都道府県等で構成する地域産業活性化協議会及び関係機関（地域の経済団体，教育機関，民間企業等）と協働して取り組む「広域基本計画」を推進するため，経済産業省の支援を受けて，次の事業を中国地域の５県で連携・実施し，ネットワーク形成等を図った。（平成２５年４月１２日提案，平成２５年６月７日採択）

○ 成長産業振興・発展対策支援事業 （国 6,305 千円）

広域でのネットワークの形成・強化，販路開拓等の活動を行うため，セミナー，技術研究会及び専門展示会への共同出展に取り組んだ。

【○印：連携機関】

区　分		医療機器・介護・高齢者生活支援等関連	ＬＥＤ	機能性食品等	航空機
鳥取	(公財)鳥取県産業振興機構	○	○	○	
島根	(公財)しまね産業振興財団	○	○	○	○
岡山	(公財)岡山県産業振興財団	○			○
広島	**(公財)ひろしま産業振興機構**	**○**	**○**	**○**	**○**
山口	(公財)やまぐち産業振興財団	○	○	○	○

ア 医療機器・介護・高齢者生活支援等関連産業分野

ちゅうごく５県の地域が，優れた「ものづくり」産業の集積を活かしながら地域経済を牽引する新たな発展性のある産業として位置づけている，医療・福祉機器関連産業のネットワーク構築等に連携して取り組むことにより，同産業の集積の形成及び活性化の促進を図った。

【連携機関：(公財)岡山県産業振興財団，(公財)鳥取県産業振興機構，(公財)しまね産業振興財団，
(公財)ひろしま産業振興機構，(公財)やまぐち産業振興財団】

(ｱ) 専門展示会共同出展支援事業

ネットワーク企業の開発商品の販路開拓や業界動向,情報収集を行うため大型専門展示会へ「ちゅうごく地域福祉機器関連産業クラスター」として共同出展を行った。

①第４０回国際福祉機器展 H．C．R．2013

期　　間	平成２５年９月１８日（水）～９月２０日（金）
場　　所	東京国際展示場「東京ビッグサイト」東ホール （東京都江東区有明3-10-1）
出展企業	広島県企業：５社（(有)徳毛レジン他），岡山県企業：５社，山口県企業：２社， 鳥取県企業：２社，島根県企業：１社
来 場 者	１２１，０４４人

② 第４回関西医療機器 開発・製造展（ＭＥＤＩＸ関西）

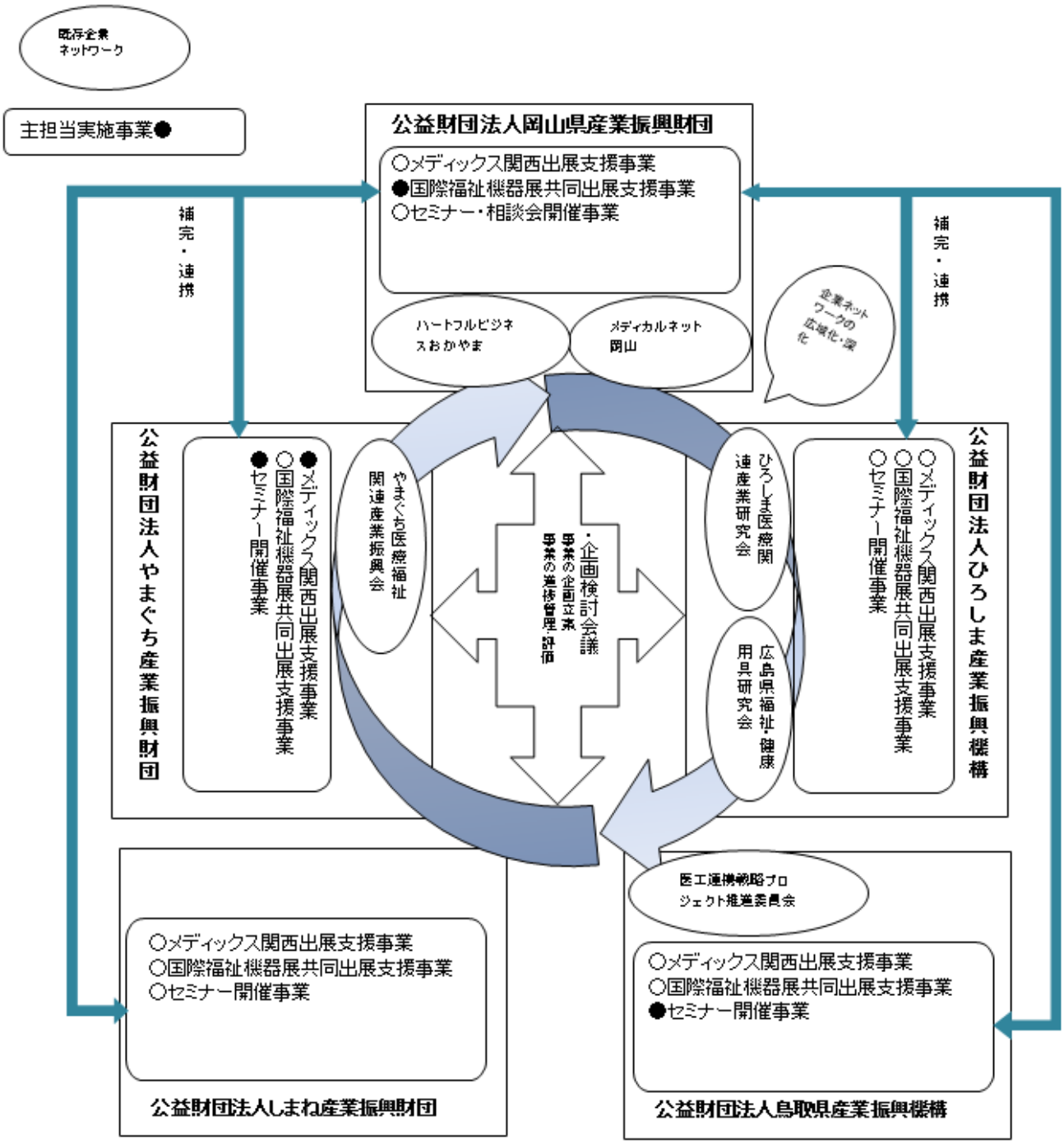
期　　間	平成２５年１０月２日（水）～１０月４日（金）
場　　所	インテックス大阪（大阪市住之江区南港北1-5-102）
出展企業	広島県企業：２社，岡山県：1グループ（共同受注），山口県企業：３社 島根県企業：１社，鳥取県企業：２社
来 場 者	３９，９７２人

(ｲ) セミナー開催事業

自社の独自技術・革新的技術を用いて，医療機器分野や福祉用具分野に参入しようとしている企業等を対象として，薬事法や業界の動向，異業種からの参入事例，商品開発事例等に関して，外部から専門的な知識やスキルを持つ講師を招聘し，ネットワーク企業の製品開発に必要な知識の習得・向上と意欲の高揚を図るため，セミナーを開催した。

開催日時	開催地域 （場所）	内容等
H26.2.10(月) 13:20～16:45	山口地域 （山口市）	「医療・福祉関連産業ものづくりセミナー」 ・主担当：(公財)やまぐち産業振興財団 ・参加者：50名(内訳：鳥取2名，島根2名，岡山1名，広島9名，山口36名) ・内容 講演①：「期待される医療機器産業と機械製造業の拡大戦略」 講師①：山形大学人文学部法経政策学科　山本　匡毅　氏 講演②：「医療機器分野の実状とものづくり中小企業新規参入事例と課題」 講師②：株式会社スズキプレシオン　代表取締役会長　鈴木　庸介　氏
H26.2.26(水) 13:30～16:30	山陰地域 （松江市）	「医療・福祉関連産業参入セミナー」 ・主担当：(公財)鳥取県産業振興機構，(公財)しまね産業振興財団 ・参加者：31名(内訳：鳥取2名，島根27名，広島2名) ・内容 講演①:「後発を逆手に取った医療(周辺機器)･福祉機器の製品開発とその産業化への挑戦」 講師①：鶴岡商工会議所　バイオ産業推進室 産業化プロデューサー　丹下　道幸　氏 講演②：「産学官連携から製品化へ向けて」 講師②：ファミリーイナダ株式会社 製造本部　法務特許室長　池田　伸也　氏

【連携体制】


既存企業
ネットワーク
主担当実施事業●
公益財団法人岡山県産業振興財団
○メディックス関西出展支援事業
●国際福祉機器展共同出展支援事業
○セミナー・相談会開催事業
ハートフルビジネスおかやま
メディカルネット岡山
企業ネットワークの広域化・深化
補完・連携
補完・連携
公益財団法人やまぐち産業振興財団
●メディックス関西出展支援事業
○国際福祉機器展共同出展支援事業
●セミナー開催事業
やまぐち医療福祉関連産業振興会
・企画検討会議
事業の企画立案
事業の進捗管理・評価
ひろしま医療関連産業研究会
広島県福祉・健康用具研究会
公益財団法人ひろしま産業振興機構
○メディックス関西出展支援事業
○国際福祉機器展共同出展支援事業
○セミナー開催事業
○メディックス関西出展支援事業
○国際福祉機器展共同出展支援事業
○セミナー開催事業
公益財団法人しまね産業振興財団
医工連携戦略プロジェクト推進委員会
○メディックス関西出展支援事業
○国際福祉機器展共同出展支援事業
●セミナー開催事業
公益財団法人鳥取県産業振興機構

イ　ＬＥＤ関連分野

鳥取県地域，島根県地域，広島県地域，山口県地域が，液晶バックライトや照明として今後成長が見込まれるＬＥＤ関連産業について，相互に連携・補完し，人材育成やネットワーク構築等に取り組むことにより，同産業の集積の形成と活性化の促進を目指している。

【連携機関：(公財)鳥取県産業振興機構，(公財)しまね産業振興財団，(公財)ひろしま産業振興機構，(公財)やまぐち産業振興財団】

(ｱ) 専門展示会共同出展支援事業

各県の企業により開発されたＬＥＤを応用した新商品，製品などの販路開拓と市場動向の調査を目的として，４県合同により国内外の照明器具，素材，部品，デバイスなどＬＥＤ照明に関する最新技術，製品情報，新光源などが一堂に集まる国内最大級のＬＥＤ総合展示会「第５回ＬＥＤ　Ｎｅｘｔ　Ｓｔａｇｅ　２０１４」への出展を行った。

〔第５回　LED　Next Stage　2014〕

期　　間	平成２６年３月４日（火）～３月７日（金）
場　　所	東京国際展示場「東京ビッグサイト」西1・2ホール （東京都江東区有明3-11-1）
出展企業負担	小間料：８．４万円／１小間（オプション費用等は別途）
出展小間数	（計９小間で共同出展）
来 場 者	５１，０３３人

(ｲ) セミナー・研修開催事業

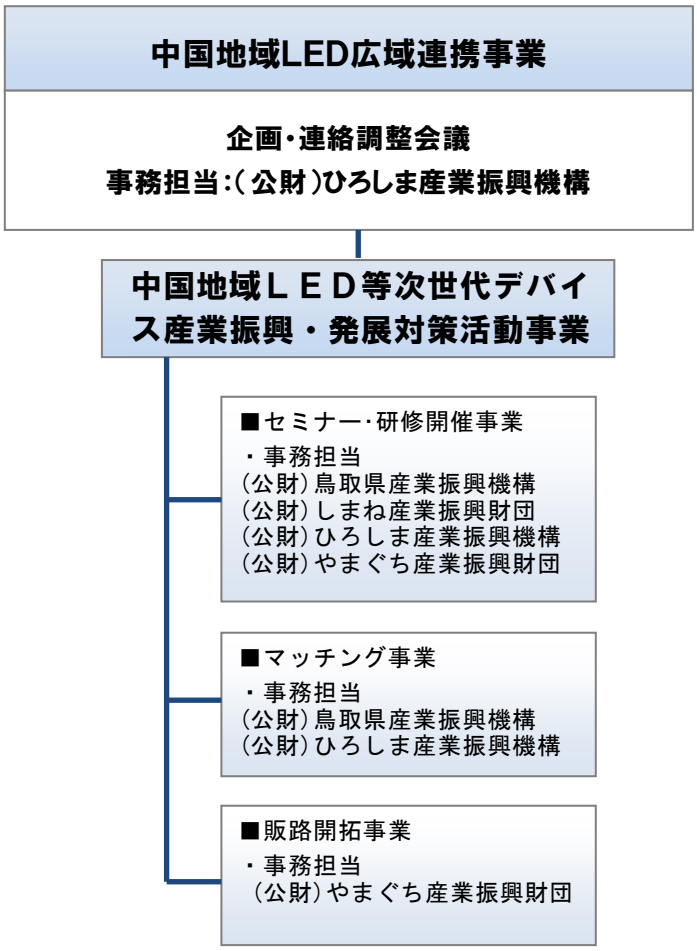
新製品の研究開発の実施主体となる「産」及び「学」の各県のＬＥＤ関係の研究会会員等を対象として，川下企業の動向，現場のニーズ，マーケティングなどに関する専門的な知識やスキルを持つ講師によるセミナー・研修を実施し，４県地域の企業の製品開発に必要な知識の向上と意欲の高揚を図った。

区分	開催日	内　　容	参加者
広島会場	H25.8. 5	○ＬＥＤ産業セミナー ・講演「これからのＬＥＤ照明に求めること」～ 未来を照らす「あかり」とは ～ ・講師：国立大学法人 奈良女子大学 副学長　井上 容子 氏	87 名
鳥取会場	H25.10.4	○ＬＥＤセミナー ・講演「LED で激変する世界の夜間景観」 ～にぎわいを創る世界のまちあかり最前線の事例紹介とその解説～ ・講師：株式会社ＬＥＭ空間工房 代表取締役　照明デザイナー 長町 志穂 氏	52 名
山口会場	H25.12.17	○ＬＥＤ産業セミナー ・講演「ＬＥＤ等次世代デバイスで変化する景観デザインと関連する屋外照明」 ～照明デザイナーから見る夜間景観の未来～ ・講師：株式会社 松下美紀照明設計事務所 代表取締役　照明デザイナー　松下 美紀 氏	42 名
島根会場	H26.2.19	○ＬＥＤ産業セミナー ・講演「ＬＥＤ照明」 ～建築と都市で，こう活かす。ＬＥＤ照明の現状と適用事例～ ・講師：㈱日建設計 設備設計部門　設備設計部長　滝澤 聡 氏	12 名

(ｳ) マッチング事業

４県地域のＬＥＤ関連産業中小企業が競争力を強化していくためには，4県地域に分布する技術やポテンシャルを効率的かつ効果的に融合させ，不足する部分を補完しあい，ＬＥＤを利用したアプリケーション（最終製品）開発を一層促進する必要があるため，主としてＬＥＤ関連の製品化・商品化支援の専門家派遣を行った。

【連携体制】



ウ　機能性食品等産業分野

鳥取県地域，島根県地域，広島県地域，山口県地域が，国民の「健康で長生き」することへの関心の高まりを背景に，食品の高機能化，高付加価値化に繋がると期待される健康食品産業のネットワーク構築等に連携して取り組むことを目的とし，同産業の集積の形成及び活性化の促進を図り，それを通して連携する集積業種についての産業集積と活性化を目指している。

【連携機関：(公財)鳥取県産業振興機構，(公財)しまね産業振興財団，(公財)ひろしま産業振興機構，(公財)やまぐち産業振興財団】

(ｱ) 専門展示会共同出展支援事業

地域企業の開発商品の販路開拓や業界動向，情報収集を行うため大型専門展示会へ「ちゅうごく地域機能性食品産業クラスター」として共同出展し，展示及び出展社プレゼンテーションなどを行った。

〔食品開発展２０１３〕

期　　間	平成２５年１０月９日(水)～１０月１１日(金)
場　　所	東京国際展示場「東京ビッグサイト」西1・2ホール＆アトリウム （東京都江東区有明3-11-1）
出展企業負担	小間料：５万円／０．５小間（オプション費用等は別途）
出展企業	広島県企業：５社（㈱あじかん，㈱ヤンマー商事，㈲宮崎商会，㈱ピーターパン）， 鳥取県：２社，島根県：３社，山口県企業：３社〔計１２社で共同出展〕
来 場 者	４０，１０２人

(ｲ) セミナー事業

新製品の研究開発の実施主体となる企業を対象として，行政の動向や法律，流通，マーケティング，そしてそれらに必要なエビデンスなどに関して外部から専門的な知識やスキルを持つ講師を招聘し，ネットワーク企業の製品開発と販路開拓に必要な知識の向上と意欲の高揚を図った。

〔フードテクノひろしま〕

地域の食品製造に係る産・学・官の連携により食品加工，品質保持・食品の機能性・新素材開発などに関する最新情報を入手し，企業の製品化に活かすなど地域の食品製造に係る適切な対応をするため「フードテクノひろしま」（研究会）の運営を支援した。

参画機関：８２（産：６０，学：１４，官等：８）

開催日 （会場）	内　　容	参加者
H25.11.5 （広島ｶﾞｰﾃﾞﾝﾊﾟﾚｽ）	○　第３回研究会 講演１　：「食分野の産業ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｽ ～ ６次産業化に向けた企業連携 ～」 講師　　：慶応義塾大学　大学院経営管理研究科　特任教授　岩本　隆 講演２　：「特定保健用食品「緑でサラナ」の開発」 講師　　：サンスター株式会社　新規素材活用事業開発ＰＪ プロジェクトリーダー　水道　裕久 事例紹介１：「異業種連携製品開発と マーケットの活性化」 講師　　：株式会社ビットパワー　代表取締役社長　川崎　太郎 事例紹介２：「島根県機能性食品産業化プロジェクトの紹介説明」 講師　　：島根県産業技術センター 生物応用科　研究幹　勝部　拓矢 事例紹介３：「プラズマクラスターイオン技術による衛生空間・節電ソリューションのご提案」 講師　　：シャープ株式会社　PCIシステム営業部　部長　新木　伸 交流会	76名

開催日 （会場）	内　　容	参加者
H26.2.13 （広島ｶﾞｰﾃﾞﾝﾊﾟﾚｽ）	○　第４回研究会 講演１：「酒粕の潜在能力を活かした食品素材の開発」 講師　：峰時　俊貴氏（大関㈱総合研究所　次長） 講演２：「最期まで穏やかに生きる～食べる喜びを失わないために出来ること～」 講師　：川口　美喜子氏（大妻女子大学　家政学部　食物学科教授） 事例紹介：「食品分野における受託殺菌・粉砕の紹介」 講師　：㈱セイシン企業　食品事業部西日本食品営業課　係長　桐畑　太治　氏 事例紹介：「廃水浄化システムの紹介」 講師　：㈱日立パワーソリューションズ　分析・計測エンジニアリング本部 グループリーダー主任技師　大津　聡　氏	69名

(ｳ) 商談展示会事業

中国地域における機能性食品等関連企業に対して商談及びマーケティングを支援する目的で「中国地方発　機能性食品・商談展示会」を実施した。

中国地方内の機能性食品及び介護食・嚥下食の研究開発，生産，販売に携わる中小企業３２社が出展を行い，パネル等を使った商品説明や試飲・試食をとおして，来場者（バイヤー，小売店，卸業者，食品メーカーの研究開発・企画開発担当者など）に積極的なアピールを展開した。

〔ちゅうごく地域機能性食品等産業クラスターによる中国地方発機能性食品・商談展示会〕

期　　間	平成２６年１月２４日(金)
場　　所	広島県立広島産業会館（広島市南区比治山本町12-18）
出展規模	３２社，３２小間 鳥取県５社，島根県１２社，広島県１０社，山口県５社 （プレゼンテーション実施企業　　７社（団体））
成　　果	商談件数　約１００件
来 場 者	３７社（バイヤー）

(ｴ) シーズニーズマッチング事業

専門的知見のあるコーディネータを配置し，４地域において有望シーズの発掘と企業ニーズの掘り起こし，シーズとニーズのマッチングを実施した。

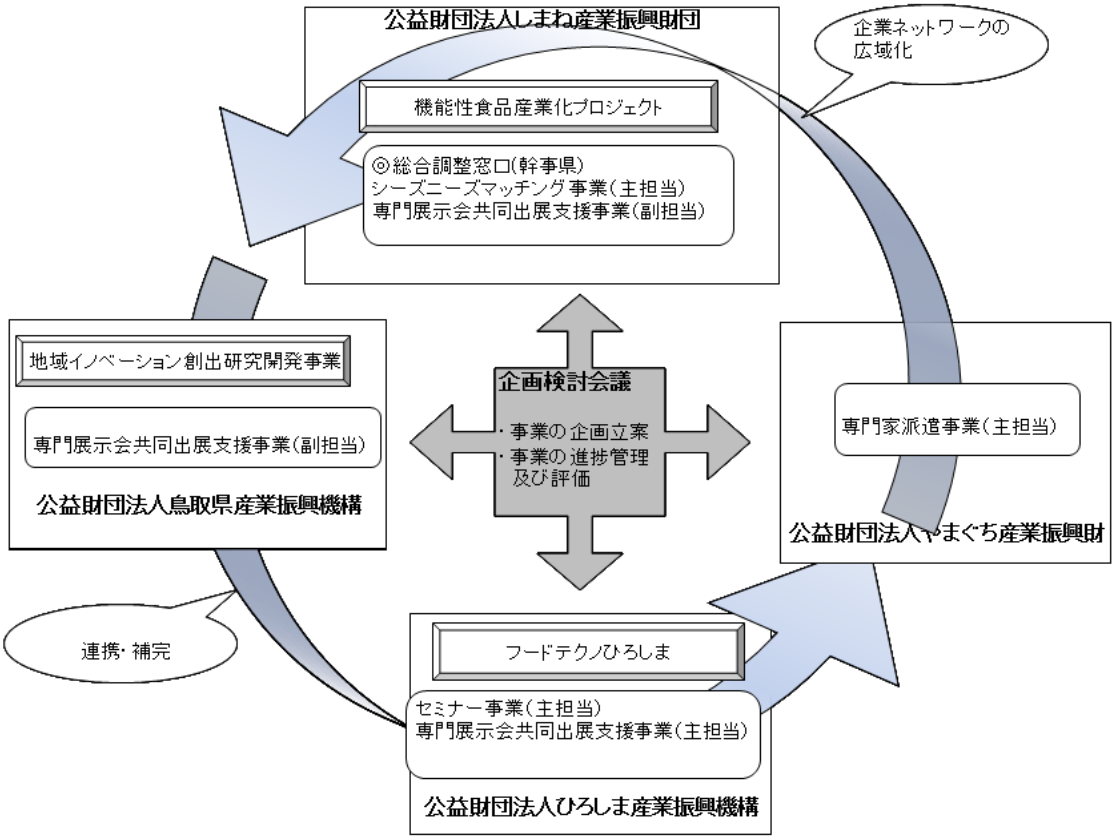
また，新たな取組みとして中国地域にある宇宙日本食等の新分野進出に必要な商品力・技術力を有した複数の企業とＪＡＸＡ等関係者を結びつける場として，ＪＡＸＡ関係者を中国地域に招聘し，宇宙日本食に関する説明会を開催した。

	マッチング項目	内　　容
①	エゴマ油の機能性試験 「産」＋「学」	島根大学医学部と島根えごま振興会との共同研究「α-リノレン酸代謝と生理機能を検証し，島根県特産品エゴマの販路拡大を目指したヒト介入試験」
②	エゴマ搾油滓の有効利用 「産」＋「産」	中村工務所とイマックスの共同研究「エゴマ搾油残渣等の乳化液を活用した機能性食品とコスメ用乳化液の開発」
③	植物性乳酸菌を用いたヨーグルトの開発 「官」＋「産」	島根県産業技術センター研究シーズの植物性乳酸菌を活用し，(有)シックスプロデュース(島根県)によるヨーグルトの商品開発
④	山椒の機能性研究 「官」＋「産」	出雲八山椒（有）と島根県産業技術センターの共同研究
⑤	「薬草による産業振興」 「産」＋「学」＋「官」	出雲商工会議所，島根大学，島根県農業技術センター，（株）健菜厨房他出雲市内企業の産学官連携により，事業化を検討
⑥	エゴマの商品開発 「産」＋「産」	オーサン（株）のエゴマ原料を利用して，日清ファルマ系列の（株）ビイ・エス・ティが商品開発
⑦	販売マッチング 「産」＋「産」	そごう広島店と（有）シックスプロデュース，大田農水加工とマッチング，4 月に企画されている食品展示販売会に出展予定
⑧	お茶の商品開発 「産」＋「産」	（株）茶三代一と（有）しまね有機ファームのマッチングにより，新しいタイプのお茶の商品開発
⑨	エゴマの商品開発 「産」＋「官」	（有）中村ファーム，木次乳業，トマック等の企業と産業技術センター，しまね産業振興財団によるバター様の商品開発
⑩	小豆粉末のマッチング 「産」＋「産」	コスモ食品（株）（北海道）が製造している小豆粉末を出雲ぜんざい学会へ紹介
⑪	ウコン粉末のマッチング 「産」＋「産」	漬物に使うウコンの新しいタイプの粉末について(株)土江本店と(株)セイシン企業とのマッチング
⑫	お茶の商品開発 「産」＋「産」＋「学」	芋を使った商品開発の試作マッチング。茶三代一の商品企画を桜江町桑茶生産組合で試作。また，専門家派遣事業で島根大学鶴永准教授による指導
⑬	小豆の地元生産マッチング 「産」＋「農」	出雲ぜんざい学会の小豆を地元で生産できないかとの相談があり，農業生産法人「グリーンサポート斐川」とのマッチング

(ｵ) 専門家派遣事業

企業が機能性食品関連産業に関わる商品開発する際や販路開拓を考える際に直面する課題を解決するため，専門的知識やスキルを持った者を個別に派遣した。

【連携体制】



エ　航空機成長産業分野

航空機分野において広島県，岡山県，山口県及び島根県の産業支援機関により，広域でのネットワークの形成・強化，販路開拓等の支援を行うため，専門展示会への出展等を行った。

【連携機関：(公財)岡山県産業振興財団，(公財)しまね産業振興財団，(公財)ひろしま産業振興機構，(公財)やまぐち産業振興財団】

(ｱ) 専門展示会共同出展支援事業

地域企業の開発商品の販路開拓や業界動向，情報収集を行うため大型専門展示会へ「ちゅうごく地域機能性食品産業クラスター」として共同出展し，展示及び出展社プレゼンテーションなどを行った。

〔2013東京国際航空宇宙産業展〕

期　　間	平成２５年１０月２日(水)～１０月４日(金)
場　　所	東京ビッグサイト （東京都江東区有明3-11-1）
出展企業	広島県企業：３社（㈱ヒロコージェットテクノロジー，㈱明和工作所，㈱サン・テクトロ），岡山県：共同受注グループとして出展，山口県企業等：１社１団体，島根県企業：６社
来 場 者	２９，４１７人

(ｲ) セミナー開催事業

炭素繊維複合材の航空機部品・部材への適用に関する研究開発の専門家や，ＣＦＲＴＰの加工成形技術の先駆者である大学教授を講師に招き，講演会を行った。

また，広島県立総合技術研究所による，炭素繊維複合材料の研究状況の発表や，福井県内の炭素繊維複合材料メーカーなどによる事例発表を行った。

（炭素繊維複合材料利用研究会と共催）

開催日時	開催場所	内　容　等
H26.2.24	広島ガーデンパレス	○　講演会 講演①：「拡大する複合材産業とビジネスチャンス」 講師①：ＫＹＣ-Japan代表，金沢工大客員教授　山口　泰弘　氏 講演②：「CFRP製自動車衝撃吸収部材の解析と実験及びCFRTPの高速成形法の開発とその衝撃特性複合材料の非破壊検査技術の進展について」 講師②：日本大学生産工学部機械工学科　教授　邉　吾一　氏 講演③：「広島県炭素繊維ＰＴの取り組み」 講師③：広島県立総合技術研究所　西部工業技術センター 炭素繊維ＰＴ　室長　山下弘之 ○　技術紹介 紹　介「福井県における炭素繊維複合材料の取組」 発表者：福井県工業技術センター，ｻｶｲｵｰﾍﾞｯｸｽ㈱， 丸八㈱，㈱ﾐﾂﾔ，㈱SHINDO，八田経編㈱ 【出席者】171名〔内訳：岡山1,広島169,山口1〕

【連携体制】

(4) 技術交流の促進 (2,214 千円)

県内における新規産業の持続的出現を図るため，技術交流の促進を図ることにより，新規事業の芽を発掘し新規産業として育成を行う事業を実施した。

① 技術シーズ企業ニーズマッチング事業（旧 技術シーズ発掘事業） （自 619 千円）

大学等の研究内容を新産業に結びつける可能性を発掘するため，企業．コーディネータ等と大学の研究室等を訪問し,研究内容の説明を受けるとともに事業化に向けた意見交換等を実施した。

〔実施状況〕

	開催日時	訪 問 研 究 室 及 び テ ー マ	参加者数
1	H25. 9. 30	広島市立大学大学院　情報科学研究科　岩城　敏　教授 『実世界とＰＣ両者にアクセスする介護支援用ハンズフリーインタフェース』	28名
2	H25.10.16	呉工業高等専門学校　機械工学分野　上寺　哲也　准教授 『３Ｄプリンターに関する呉高専の取組みとその将来性』	99名
3	H25.10.25	福山大学　グリーンサイエンス研究センター　井ノ内　直良　教授 『食品の機能開発と安全確保による食環境の改善と健康増進』 福山大学　グリーンサイエンス研究センター　藤田　泰太郎　教授 『生物育種と組換え技術を活用した土壌環境の保全と浄化』 福山大学　グリーンサイエンス研究センター　井上　敦子　教授 『生体の環境適応機能と天然物による調節機能』	32名
4	H25.11.6	県立広島大学　経営情報学部　経営情報学科　市村　匠　准教授 『インテリジェント・スマートフォン』 県立広島大学　経営情報学部　経営情報学科　竹本　康彦　准教授 『状態変化追跡方法とこれを応用した工程管理支援システム』	37名
5	H25.11.12	近畿大学　工学部　機械工学科　白石　光信　教授 『可変湾曲・ねじり部材成形のためのフレキシブル押出加工法の開発』	21名
6	H25.11.21	呉工業高等専門学校　機械工学分野　上寺　哲也　准教授 ＜第２回＞『３Ｄプリンターに関する呉高専の取組みとその将来性』	24名
7	H25.12.6	県立広島大学　保健福祉学部コミュニケーション障害学科　今泉　敏　教授 『コミュニケーション脳機能検査システムの開発』 県立広島大学　保健福祉学部コミュニケーション障害学科　細川　淳嗣　講師 『ＩＣＴ機器を用いた障害者支援』 県立広島大学　保健福祉学部コミュニケーション障害学科　土師　知之　教授 『非侵襲的な嚥下機能検査について』 県立広島大学　保健福祉学部コミュニケーション障害学科　矢守　麻奈　教授 『県産品を用いた嚥下訓練器具の開発と介護情報普及について』	30名
8	H26. 1.16	広島工業大学　生命学部　越智　幸三　教授 『生物（微生物・植物）の潜在能力活性化技術の開発とその産業展開』	25名
9	H26. 2.12	広島大学　大学院工学研究院 電気電子システム数理部門 生体システム論研究室　栗田　雄一　准教授 『人の運動感覚の可視化と制御　～人を賢くサポートする機械を作るために～』	35名
10	H26. 2.20	広島修道大学　人間環境学部　川村　邦男　教授 『高温高圧溶液反応をミリ秒レベルで実施および解析するフローリアクター技術』	15名

② 共同研究支援事業　（自　309 千円）

新技術の利用，産学官の共同研究等を促進するため，産業界のニーズの高いテーマについて，技術の開発動向，利用方法等に関する研究会を支援し，また，大学研究室訪問参加企業のフォローアップを通じて，研究会活動への展開の可能性の探索や新たな研究会の立ち上げを検討した。

ア　広島県金属防食技術研究会

広島工業大学の王栄光准教授（発表テーマ：防食を中心とした金属材料の表面改質と機能性評価）の研究シーズをベースとして，「広島県金属防食技術研究会」を運営し，材質のサビや腐食発生メカニズムの解明と新たな技術開発へ幅広く検討した。〔平成２３年度研究会設立〕

〔参画機関：５３（産：４９，学：１，官等：３）〕

開催日	内　　容	参加者
H25.6.21 （第4回）	○講演「ステンレス鋼の腐食と材料開発」 日新製鋼株式会社　技術研究所　ステンレス・高合金研究部　材料第二研究チーム　チームリーダー 原田　和加大 ○発表「表面反応測定装置を使った腐食電位の計測」 ヒロコン株式会社　代表取締役　和田　裕幸 ○発表「環境にやさしい防食性凍結防止剤の開発」 広島工業大学　工学部　機械システム工学科　准教授　王　栄光 ○発表「金属の撥水化処理と耐食性評価」 広島工業大学大学院　工学系研究科　院生　金子　純也 ○交流会	56名
H26.3.13 （第5回）	○講演「実機における機械的劣化と腐食の重畳現象およびその対策」 広島大学　大学院工学研究院　化学工学講座　准教授　磯本　良則 ○講演「モップ式電解処理によるステンレス鋼の耐食性向上」 株式会社ケミカル山本　技術部　林　慶治 ○発表「コンクリート構造物の塩害劣化と電気防食」 株式会社ナカボーテック　技術研究所　小林　浩之 ○話題提供「金属の撥水化処理と耐食性評価」 広島工業大学　工学部　機械システム工学科　准教授　王　栄光 ○交流会	41名

イ　炭素繊維複合材料利用研究会

広島県内の自動車関連産業等を中心とする企業・大学・県立研究機関といった産学官が集結し，技術に関する交流や研鑽を行なう場を設け，軽量で高強度な炭素繊維複合材料の自動車部品や一般産業機械部品等への適用を通じて,参加企業の活性化と発展に貢献することを目的に，広島県立総合技術研究所と連携しながら，本研究会を運営し，低コストの素材や加工技術の実用化を検討した。〔平成１９年度研究会設立〕

〔参画機関：２１６（産：２０３，学：４，官等：９）〕

開催日	内　　容	参加者
H25.8.26 （第13回）	○特別講演「ナショナルコンポジットセンターの概要と今後の研究の方向」 名古屋大学工学研究科教授　ナショナルコンポジットセンター長　石川　隆司 ○講演１　「炭素繊維複合材料構造物の非破壊検査技術」 (独) 産業技術総合研究所　計測フロンティア研究部門　構造物画像診断GRグループ長　津田　浩 ○講演２　「３Ｄ超音波検査装置MatrixeyeEX+と複合材検査への適用の紹介」 東芝電力検査サービス株式会社　検査装置部　主幹　唐沢　博一 ○交流会	144名

③　研究開発終了後のフォローアップ　　（県 1,286 千円）

地域新生コンソーシアム研究開発事業２テーマ，地域イノベーション創出研究開発事業４テーマ，戦略的基盤技術高度化支援事業（通称サポイン）７テーマについて，補完研究契約を締結し，進捗管理を行った。その他，事業化へ向けて，以下のセミナー（講演会）を開催した。

NO	開催日・開催場所	内　　容	参加者数
1	H26.2.27（木） 福山ニューキャッスルホテル	○　ＬＥＤ産業セミナー 演題１「ＬＥＤ照明の熱設計」 講師 ㈱サーマルデザインラボ　代表取締役　国峯　尚樹 演題２「電気用品安全法（ＰＳＥ）の解説」 講師 中国経済産業局産業部消費経済課　課長補佐　安田　寿也	４２名
2	H26.2.27（木） 東広島商工会議所会館	○　技術講演会（次世代自動車技術研究会と共催） 演題「３Ｄプリンタの現状と開発動向～３Ｄプリンタの基礎知識と実用化の現状～」 講師 近畿大学工学部　学部長・教授　京極　秀樹	６０名

３　経営革新の促進　（42,613 千円）

(1)　取引先開拓の支援　（18,790 千円）

①　広域取引情報収集提供事業　（県，受，自 16,517 千円）

ア　広域取引情報収集提供事業　（県，受 10,361 千円）

(ｱ) 下請取引あっせん（受注量の確保，発注の開拓，登録の促進）

県内中小企業の受注量の確保を図るため，発注開拓を行い，取引先の紹介を希望する企業にあっせんを行った。平成２６年３月末現在の実績は以下のとおりである。

（単位：件，千円）

発注登録数	受注登録数	あっせん件数	成立件数	成立金額	企業訪問件数
3,074	2,780	799	91	266,008	716

(ｲ) 受注体制のサポート強化

県内中小企業の販路開拓を支援するため，コーディネーター２名を配置し，取引あっ旋，経営・技術等の各種相談に応じ，県内中小企業の経営基盤強化を図った。特に県外の発注企業の開拓に注力し，その結果，商談会における県外の発注企業の新規参加者が増加傾向にある。

(ｳ) ビジネス・マッチング・ステーション（ＢＭＳ）の活用促進

会員企業の企業情報，発注案件情報，受注希望情報を閲覧できるほか希望条件に応じた企業を検索することができる(財)全国中小企業取引振興協会の取引マッチングシステムを活用することにより，取引拡大を推進した。広島県内では，平成２６年３月末現在で５１４企業（受注３９２企業，発注１２２企業）が登録を行っている。

(ｴ) 発注情報の提供

ｅメールを利用して発注情報をリアルタイムに提供し，受注希望を募った。平成２６年３月末現在で約８４０社に，５４件の発注情報の提供を行い，受注企業２４２社が応募した。

イ　モノづくりパートナーシップ支援事業　（自 6,156 千円）

中小企業グループの経営資源を相互に活用し連携することで，既存の親事業者との取引減少に対応できるよう取引関係を多様化し，経営の安定を図ることを目的として行う連携体構築のための取り組みを支援した。

グループ名（中核企業名）	所在地	企業数	支　援　内　容
NPO 法人ビジネスエンジン支援会 （㈱アルファエスアイ）	広島市	７社	体制確立，販路拡大 （助成金交付額　2,828 千円）
LLP 法人エヌケー （㈱キョウエイ）	福山市	５社	体制確立，販路拡大， （助成金交付額　2,833 千円）
ＣＮＢトーユー （㈱泉工作所）	呉　市	９社	計画策定，体制確立

② 広域取引商談会推進事業 （県 2,273 千円）

県内中小企業の業種に関連する県内外の発注企業を訪問・開拓し，広域的な受注機会の増大と新規取引先の拡大を支援する商談会を開催した。

第１回　大阪地区取引商談会

開催時期	平成２５年８月８日（木）
開催場所	新大阪ブリックビル（大阪市）
参加企業	発注企業２２社　　受注企業３９社
内容	個別面談方式
商談件数	１４２件

第２回　中国ブロック合同商談会

開催時期	平成２５年９月３日（火）
開催場所	ホテルグランヴィア広島（広島市）
参加企業	発注企業７３社　受注企業２１８社(内広島県内　受注企業８１社)
商談件数	２２９件（広島県分）

第３回　ものづくり中国進出企業上海商談会

開催時期	平成２６年１月２３日（木）
開催場所	オークラガーデンホテル上海（中国・上海市）
参加企業（予定）	発注企業２２社　受注企業４０社（内広島県内　受注企業６社）
商談件数	２９件（広島県分）

第４回　福山地区取引商談会

開催時期	平成２６年１月３０日（木）
開催場所	福山ニューキャッスルホテル（福山市）
参加企業（予定）	発注企業３１社　　受注企業７５社
商談件数	２０３件

③ 個別企業との商談会

県内企業の受注機会の増大と新規取引先の拡大を支援するため，個々の発注企業のニーズに合わせて商談会を実施した。

No.	実施日 (H25 年度)	発注企業名	主要製品	発注内容	参加 企業数
1	4 月 25 日	サントイ㈱（広島県尾道市）	樹脂製玩具	樹脂製玩具 一貫生産	11 社
2	5 月 8 日	タツモ㈱（岡山県井原市）	半導体製造設備	プーリー加工	3 社
3	5 月 17 日	㈱英田エンジニアリング （岡山県赤磐郡）	製鉄用機械設備等	軸受け加工	4 社
4	7 月 8 日	三菱重工業㈱三原製作所機械鉄構事業本部（広島県三原市）	新交通システム，車両	新幹線車両部品	4 社
5	8 月 1 日	光南溶工㈱（岡山県岡山市）	製麹機械	製麹機部品	3 社

No.	実施日 (H25 年度)	発注企業名	主要製品	発注内容	参　加 企業数
6	8 月 2 日	ＭＨＩ下関エンジニアリング㈱（山口県下関市）	舶用機械，クレーン，製鉄機械	製鉄用搬送装置	6 社
7	9 月 11 日	旭サナック㈱ （愛知県尾張旭市）	塗装設備他	ＦＣ鋳物の切削	6 社
8	9 月 25 日	タツモ㈱（岡山県井原市）	半導体製造装置，搬送ロボット	アルミ製真空容器	3 社
9	10 月 25 日 ～ 10 月 26 日	㈱ユニバンス（静岡県湖西市）	自動車用部品	プレス部品，鍛造部品，機械加工部品	11 社
10	11 月 19 日	Q-fog 社（スウェーデン）	スプリンクラー	スプリンクラー	5 社
11	11 月 19 日	㈱シブヤ（広島県広島市）	ダイヤモンドコアドリル	ダイモドリルアセンブリ	5 社
12	3 月 25 日 ～ 3 月 26 日	ＭＨＩ下関エンジニアリング㈱（山口県下関市）	舶用機械，クレーン，製鉄機械	船舶用エレベーター，ブリッジ	6 社

④　下請かけこみ寺

下請取引の適正化を推進するため，下請取引上の悩みを抱える県内中小企業に対して，今年度においては平成２６年３月末時点で１８３件（内弁護士無料相談１０件）の相談・助言等を行った。

下　請　代　金　法　関　係				建設業	運送業	その他	合　計
支払遅延	不当利益 提供要請	その他	計				
6 件	2 件	7 件	15 件	66（4）件	10 件	92（6）件	183（10）件

※（　）は内弁護士無料相談件数

(2)　情報化の支援　（10,793 千円）

①　インターネットによる各種支援情報等提供事業　（県 10,793 千円）

インターネットを活用した情報発信機能の向上を図るため，行政や支援機関等と連携した情報提供を行った。

②　情報誌等発行事業

本財団が実施する各種支援施策や企業等が必要とする情報等を掲載した広報誌「産振構ニュース」「事業利活用案内」等を発行し，企業等へ情報提供を図るとともに，財団事業の積極的な利用を促進した。

○　**産振構ニュースの発行　実績：６月３０日，９月３０日，１２月３０日，３月３１日**

(3)　産業人材の育成　（13,030 千円）

①　バリューエンジニアリング研修事業　（県 5,041 千円）

製造事業者等が用いるコスト低減，機能向上によるバリューエンジニアリング活動（ＶＥ活動）等に関する研修会等を実施することにより，県内企業の製品改善及び生産性向上の取組みを担うことのできる人材を育成した。

○　研修会（ＶＥセミナー等）の開催

企業の実務者を対象としたＶＥ手法の習得に関する研修会を企画・開催した。

また，平成２５年度は，この活動に加え，『TRIZ（革新的問題解決手法）』を今後の新たな支援策の一つとして導入を検討していくにあたり，手法の概要を紹介する説明会や入門講座を開催した。

〔平成 25 年度ＶＥセミナー開催状況〕

区分	開催日	場　　所	受講者
第１回	平成25年 6月11日・12日	広島県情報プラザ研修室 （広島市中区千田町3-7-47）	24名 （15社）
第２回	平成25年 8月29日・30日	県立総合技術研究所西部工業技術センター研修室 （呉市阿賀南2-10-1）	11名 （7社）
第３回	平成25年 10月10日・11日	県立総合技術研究所東部工業技術センター研修室 （福山市東深津町3-2-39）	22名 （11社）
第４回	平成25年 11月28日・29日	東友会協同組合　会議室 （広島市南区大州5-3-33）	25名 （14社）
第５回	平成26年 2月6日・7日	東広島市新産業創造センター 会議室 （東広島市西条西本町28-6 サンスクエア東広島3F）	18名 （11社）

〔TRIZ 関連セミナー開催状況〕

開催日	内　　容	参加者
H25.11.20	ＴＲＩＺ概要説明会 〈講師〉　学校法人産業能率大学　総合研究所 チェンジマネジメント支援センター（TRIZ 推進室） プログラムマネージャー　　山崎　良二　氏	24社・団体/ 31名
H26. 3.13 ～ 3.14	オープンセミナーＴＲＩＺ入門講座 〈講師〉　学校法人産業能率大学　総合研究所 経営管理研究所　ﾃｸﾉﾛｼﾞｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｿﾘｭｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ 主幹研究員　総合研究所　教授　安達　隆男　氏	12社・団体/ 20名

○　ベンチマーク活動の支援

ベンチマーキングセンターと連携し，参画企業のＶＥ活動を支援した。

〔平成 25 年度ベンチマーキング活動状況〕（再掲）

ベンチマーク車両	ベンチマーク期間
ホンダ　N-ONE	H25.7.16～H25.8.2
スズキ　ワゴン R	H25.10.15～H25.10.30
ホンダ　アコード・ハイブリッド	H26.1.14～H26.1.30

②　成長産業人材養成等支援事業　　（国　4,080 千円）

「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」に基づき，地域が主体的かつ計画的に行う企業立地の促進や，新たな雇用創出等が期待される地域産業集積の形成及び活性化のための取組を支援するため，誘致等対象産業のニーズを踏まえ，企業立地又は事業高度化につながる地域における高度な人材養成や人材の確保のための研修等を中国地域の産業支援機関等と特定の集積分野において，広域的に連携して実施した。

【○印:実施機関】

区　分		次世代自動車等
鳥取	(地独)鳥取県産業技術センター	
島根	(公財)しまね産業振興財団	
岡山	(公財)岡山県産業振興財団	○
広島	**(公財)ひろしま産業振興機構**	**○**
山口	(公財)やまぐち産業振興財団	

ア　次世代自動車等産業分野（中国地域次世代自動車等開発人材養成事業）

自動車の電動化技術開発や自動車部品製造に不可欠な開発要素技術の分野研修として「電費向上」，「ＣＦＲＰ加工」，「モデルベース開発（ＭＢＤ）」に関する研修を横断的な連携を行いながら実施した。

【実施機関：(公財)岡山県産業振興財団，(公財)ひろしま産業振興機構】

○　モデルベース開発（ＭＢＤ）人材育成研修

〔設計・解析研修（社会人・学生合同）〕

実施期間	平成２５年８月２日～９月３日（６ｈ×８日間）		
実施場所	近畿大学 次世代基盤技術研究所	参加者	２１名
	福山大学 宮地茂記念館		１６名
内　　容	１．モデルベース開発の概論，運動力学理論/制御工学理論 （講師：近畿大学　竹原教授） ２．MATLAB/Ｓｉｍｕｌｉｎｋ操作演習 （講師：岡山大学　矢納助教） ３．制御系設計Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ （講師：広島大学　山本教授，川田准教授，中本助教） ４．オープンソースの活用（講師：広島大学　大野准教授）		

〔システム検証研修（社会人）〕

実施期間	平成２５年９月１０日～９月２５日（６ｈ×５日間）		
実施場所	近畿大学 次世代基盤技術研究所	定員	９名
	福山大学 宮地茂記念館(社会連携研究推進センター)		１０名
内　　容	１．制御システムの検証Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ（講師：福山大学　香川教授，沖准教授） ２．システム工学概論，制御システム開発事例 （講師：広島市立大学　大場教授， 広島県立総合技術研究所　倉本副主任研究員）		

(4) 異業種交流の促進

① 広島県異業種交流連絡協議会の運営

県内６つの異業種交流グループ（延べ２２６社）がお互いの経営資源を持ち寄って交流し，その補完効果と相乗効果によって自社の経営資源を高め，総合的な経営力の強化が図られるよう支援を行った。

回数	開催日	内　　容	参加者数
１回	H25.5.9	○講演会『日本の国防の観点から北方領土問題を考える』 講師：公立大学法人県立広島大学 人間文化学部 国際文化学科 専任講師　　原　理　氏	１７名
２回	H25.10.16	○県外企業見学会 ・㈱アドヴィックス（愛知県刈谷市） ・㈱豊田自動織機　（愛知県高浜市）	１７名

② 異業種交流グループの支援

次の２つの異業種交流グループの運営を行い，会員企業の経営力の向上のために，業種の垣根を越えて，広く情報交換や視察，学習の場を設けた。

ア　広島県異業種交流サロン（36 社）

回	開催日	内　　容	参加者数
１回	H24.5.29	○講演会『はやぶさ･子ども・未来』 講師：独立行政法人 宇宙航空研究開発機構　名誉教授　的川　泰宣　氏	１５名
２回	H25.8.30	○県内企業見学会 ・株式会社ヤマサキ西風新都工場　・オタフクソース株式会社 ・ちゅーピーパーク	１１名
３回	H25.9.4	○企業発表会「自社のＰＲ・最近取組みの新事業・新技術」 ４社　・㈱システムワン　・㈱デイ・リンク ・寺越愼一税理士事務所　・㈱ナガト	１７名
４回	H24.12.11	○講演会『ｱﾍﾞﾉﾐｸｽとｼｪｰﾙ革命-2014 年の株，為替，不動産，金-』 講師：国際エコノミスト　今井　澈　氏	１２名
５回	H25.1.22	○新春講演会『ジャパンルネッサンス～今こそ日本の底力を見せるとき～』 講師：拓殖大学　国際学部　教授　呉　善花（オ　ソンファ）　氏	２２名
６回	H25.3.26	○講演会『伊勢神宮と出雲大社の遷宮』 講師：広島大学大学院　文学研究科　教授　三浦　正幸　氏	１３名

イ　自立研究会（18 社）

回	開催月日	内　　容	参加企業数
１回	H25.6.27	○新製品開発検討会	６社
２回	H25.9.6	○大学研究室訪問（福山大学）高速光造形機（３Ｄプリンタ）見学会	１０社
３回	H25.10.17	○分科会工場見学　東洋額装株式会社	７社
４回	H25.10.26～27	○「じばさんフェア２０１３」（福山ローズアリーナ）	３社
５回	H25.11.1～2	○名古屋工場見学　・㈱ジェイテクト　・㈱アカイタイル	８社
６回	H25.12.3	○講演会『温泉雑記帳』　講師：熊代　利昭	１３社
７回	H25.2.13～16	○ベトナム海外視察　・ローカル金属加工工場 ・VINAGIMEX 社 人材教育センター　・タツモ　ベトナム工場　・日系工業団地	４社
８回	H26.3.17	○分科会工場見学　・有限会社メタルワーク福山	８社
青年部	H25.8.7	○工場見学　　・株式会社明和工作所	５社

４　資金等の支援　　（361,119 千円）

(1)　設備導入の支援　　（361,019 千円）

①　設備貸与事業　　（自 334,861 千円）

県内の小規模企業者が創業又は経営基盤の強化を図るために必要とする設備を，本財団が機械設備販売業者から購入し，当該設備を長期かつ固定金利で割賦販売を行った。

○　貸与枠　　４億円

設備貸与申込・実績　　（金額　単位:千円）

区　　分		申　込		実　績	
		件数	金　　額	件数	金　　額
内訳	製造業	6	115,467	1	3,937
	卸・小売業	－	－	－	－
	サービス業	2	37,955	－	－
	その他	2	83,727	2	83,727
合　　計		１０	237,149	3	87,664

※　平成 24 年度から，利用限度額の引上げを行い，また，経営革新計画認定企業に加え創業者についても利率の優遇措置を設定

②　設備資金債権管理事業　　（県，自 26,158 千円）

小規模企業者等に貸し付けた設備資金の定期償還，抵当権抹消業務及び未収債権の回収業務を行うとともに，未収債権の発生を未然に防止するため，貸付先企業に対して，経営状況の調査及び巡回指導を行った。

③　債権管理

平成２６年３月末現在の滞納状況は次のとおりである。

○　設備資金

貸付残高（千円）	未収残高（千円）	滞納率（%）
２１３，６４０	0	0

○　設備貸与

貸付残高（千円）	未収残高（千円）	滞納率（%）
７８７，９３６	４５，３７１	５．８

※平成２６年度末をもって，現行の設備貸与事業は終了する。

(2) 中小企業等育成資金の支援 （自 100 千円）

県から投資原資の出捐を受けた公的投資事業組合等を活用して県内のベンチャー企業，新事業展開を目指す中小企業等への投資を行った。

① 投資事業組合の概要

ア 投資事業組合運営事業【通称：１号組合】

- ○ 広島県から投資原資資金の出損金を受けた公的投資事業組合を活用して，県内に事業所を有し，又は県内に事業所を設け事業化するため投資を希望する資本金５億円未満の企業へ投資を行っている。
- ○ 平成１８年で事業を終了しているが，延長した１社についてのみ平成２７年１２月３１日まで１組合を継続。

イ 研究開発型ベンチャー企業誘致事業【通称：３号組合】

- ○ 広島県から投資原資資金の出捐金を受けた公的投資事業組合を活用して，本県を拠点とした事業化の意思のある県外の研究開発型ベンチャー企業へ投資を行っている。
- ○ 出資総額６，３００万円（うち，投資総額：４，０００万円[投資期間終了]）
- ○ 期間延長につき，平成２６年１２月３１日まで組合を継続。

ウ 企業育成型ひろしまファンド事業【通称：４号組合】

- ○ 広島県から投資原資資金の出捐金を受けた投資事業有限責任組合を活用して，新事業展開（第二創業）等を目指す中小企業に対し，育成を目的とした投資を行っている。
- ○ 出資総額５億円（うち，投資総額：３億１，６３２万円[投資期間終了]）
- ○ 組合期間：平成２６年１２月３１日まで。

② 投資状況

（平成２６年３月末現在）

組合名	投資企業数	上場企業	倒産企業	その他	出資額	投資額	組合資産	内訳
1号組合	26 社	4 社	3 社	19 社	10 億円	5 億 1 百万円	15 億 35 百万円	投資額 501 百万円 売却等損益1,034 百万円
3号組合	2 社	未定	未定	未定	63 百万円	40 百万円	未定	未定
4号組合	15 社	未定	1 社	3 社	5 億円	3 億 16 百万円	未定	未定

５　国際ビジネスの支援　　(33,216 千円)

県内企業の国際ビジネスを総合的に支援することにより，県内産業のグローバル化を促進し，広島県経済の活性化を図った。

(1)　海外事務所等の運営　　(16,786 千円)

①　海外事務所の運営管理

広島上海事務所の運営を通じ，現地経済情報の収集・提供，ビジネスマッチング及び現地訪問者への便宜供与，広島県のＰＲ等を行い，県内企業の国際ビジネスの取組みを支援した。

区　　分	情報収集・提供等	便宜供与	来 訪 者
広島上海事務所 〔委託先〕 ㈱チャイナワーク	193 件	51 件	82 人

【情報収集・提供等】

情報収集依頼対応，来訪報告，訪問報告，現地ニュース作成，ビジネスメール配信，現地での行事参加など

・広島県水産品・菓子の上海での流通調査（広島県）
・靴下，腹巻のメーカー紹介（広島市の企業）
・上海での事務所（分公司）設立に関する必要書類（広島市の企業）
・上海自由貿易区の施策が県内企業等に及ぼす影響（広島県）
・ぜいたく禁止令該当品に関する確認（広島市の企業）
・中国国内でのイベント開催に関する税金等の情報（広島市の企業）
・上海の大気汚染に係る日本企業への影響（産振構）
・上海エリアの流通情報［店舗出店，開業など］（広島市の企業）
・イベント時のマネキン（売り子）手配の会社紹介（広島市の企業）
・水の取引が可能な商社の紹介（広島市の企業）
・上海のレストランで中国人に人気のある店の情報（竹原市の企業）
・地方代理店開拓に向けた情報提供（呉市の企業）
・現地パートナーの開拓，現地企業の調査手段の情報（広島市の企業）
・通訳の派遣についての問合せ（尾道市の企業）
・インポーター（輸入商社）のリストに関する確認（広島市の企業）
・上海での飲料水の価格調査（広島県）
・労務派遣暫定規定に関する問合せ（広島市の企業）
など

【便宜供与】

県内企業等の上海訪問同行，県内企業等の事務所来訪対応，県内企業等が参加する見本市・商談会等への出展支援など

・上海近郊への生産工場設立に関する相談（廿日市市の企業）
・自社製品の中国国内販売に向けた情報提供（福山市の企業）
・中国国内における営業体制等の相談（広島市の企業）
・上海での法律事務所についての情報提供（尾道市の企業）
・内モンゴル自治区での事業展開についての情報提供（広島市の企業）
・北京事務所の閉鎖と合弁会社設立についての相談（広島市の企業）
・中国に進出している広島県企業の情報提供（府中市の企業）
・人件費の相場に関する情報提供（広島市の企業）
・商流調査への同行（広島県）
・観光イベントでの中国語プレゼン（広島県）
など

② 海外ビジネスサポーターの設置

現地情報の収集等，海外拠点のネットワーク化を図るため海外ビジネスサポーターを設置し，現地経済情報の収集・提供等を行い，県内企業の国際ビジネスの取組みを支援した。

エリア	国・地域名	都　市	海外ビジネスサポーター	備　　考
ア　ジ　ア	シンガポール	シンガポール	碇　　知　子	
	中　　国	大　　連	劉　　瑛	
		重　　慶	吉　川　孝　子	
	台　　湾	台　　北	皆　川　榮　治	
	ベトナム	ハ　ノ　イ	中　川　良　一	
		ホーチミン	石　川　　幸	平成25年10月1日から
	タ　　イ	バンコク	富　永　勇　三	
	インドネシア	ジャカルタ	松　井　和　久	
	イ　ン　ド	チェンナイ	田　中　啓　介	
北　　米	アメリカ	ニューヨーク	今　泉　江利子	
ヨーロッパ	ロ　シ　ア	モスクワ	岩　本　　茂	平成25年9月30日まで

③ 中国ビジネス・シリーズ講座の開催

広島上海事務所のノウハウを活用し，中国ビジネスの取組みを支援するため，全８回にわたる講座を開催した（概要は（４）①（ア）の「セミナーの開催」に記載のとおり）。

④ 海外ビジネスサポーター報告会の開催

企業ニーズの高い地域のビジネスサポーターを広島に招聘し，報告会（セミナー）を実施した（概要は（４）②の「海外情勢報告等事業」に記載のとおり）。

(2) ビジネスマッチングの促進　　(9,584 千円)

① 視察派遣事業　　（負，会費 628 千円）

企業の関心の高い国・地域に視察研修団を派遣し，日系及び現地企業等への訪問等を通じて，ビジネスマッチングの推進を図った。

事業名	派遣先	日程	参加者数
フィリピン視察研修団派遣	フィリピン （マニラ，セブ）	平成 26 年 1 月 19 日(日) ～25 日（土）	15 社・団体 17 人

② 海外販路開拓・拡大支援事業　　（負，会費 1,551 千円＋県 7,405 千円）

JETRO との連携による海外のバイヤーとの商談会の開催や，Agri 協議会事業による海外の見本市等への出展等を通じて，ビジネスマッチングの機会を提供し，県内企業の海外販路開拓・拡大を支援した。

事　業　名	実　施　期　間	参加企業数
食品輸出商談会 in 広島 （ジェトロ共催事業）	平成 25 年 10 月 25 日（金）	21 社

事　業　名	実　施　期　間	参加企業数
FHC CHINA 2013 （広島県からの受託事業）	平成 25 年 11 月 13 日(水)～15 日(金)	13 社
ロス商談会（食品） (Agri 協議会事業/農水省補助事業)	平成 25 年 11 月 19 日(火)～20 日（水）	9 社
台北物産展（食品） (Agri 協議会事業/農水省補助事業)	平成 25 年 11 月 28 日(木)～12 月 8 日(日)	9 社

③　商談・視察受入事業

海外からの経済交流団等を受け入れ，意見交換等を通じて現地情報の収集を行うとともに，ネットワークの形成や県内企業とのビジネスマッチングの機会を提供した。

名　称	時期・場所	訪日団	参加者数
ベトナム・ビンフック省 ビジネスチャンスセミナー	平成 25 年 4 月 26 日（金） リーガロイヤルホテル広島	同省人民委員会副委員長 他１４人	３４人

④　広島日本香港協会を通じた事業展開

国際ビジネス支援センターが事務局を務める広島日本香港協会を通じて,香港･中国を中心とする成長著しいアジア地域とのビジネス支援や，相互の投資拡大･経済交流を促進した。

事業内容	実施日	開催場所等	参加者数
総会・講演会	平成 25 年 5 月 17 日（金）	オリエンタルホテル広島	26 人
アジア･フォーラム in 沖縄	平成 25 年 5 月 31 日（金）	沖縄　万国津梁館	2 人
初めての海外取引セミナー &相談会	平成 25 年 7 月 26 日（金）	東広島商工会議所	セミナー29 人 相談会 6 人
ビジネスセミナー	平成 25 年 9 月 12 日（木）	ＡＮＡクラウンプラザ ホテル広島	70 人
香港フォーラム（於：香港） への参加	平成 25 年 12 月 3 日（火）	香港コンベンション& エキジビションセンター	5 人
春節・意見交換会	平成 26 年 2 月 21 日（金）	リーガロイヤルホテル 広島	11 人

⑤　海外取引フォーラム運営事業（海外取引バンク）　　○　登録企業数　７９社

貿易取引や海外投資を希望する県内企業情報を「海外取引バンク」として取りまとめ，インターネットを活用し海外に情報発信することにより,県内企業のビジネスチャンスの支援を行った。

(3) コンサルティング・人材育成 （4,385 千円）

① コンサルティング （負，会費 3,913 千円）

ア 県内企業等からの貿易・海外投資等についての各種照会や相談を受け付け，当機構の海外事務所や海外ビジネスサポーターのネットワークを活用するほか，ジェトロ広島貿易情報センター，(独)中小企業基盤整備機構中国本部など関係機関とも連携し，調査回答や情報提供を行った。

イ 海外販路開拓拡大支援事業の商談をサポートするため，日本側出展者への事前研修会の開催や当該商談会への専門家の派遣支援を実施した。

※ 海外ビジネス定期相談会の共催

(独)中小企業基盤整備機構を中心として，広島商工会議所，福山商工会議所及び㈱広島銀行等と地域連携し，中国，ベトナム，インド及びタイ等のビジネスに関する相談会を共催した。

② 国際取引実務研修事業 （会費，他 472 千円）

県内企業の貿易実務者の養成を支援するため，輸出入事務，国際取引契約等，海外取引の入門的な知識から実務に必要な専門知識まで，幅広い内容の貿易実務研修を実施した。

会 場	研修期間	講 師	内 容	受講者数
広島会場	平成 25 年 7 月 2 日(火) 3 日(水) 4 日(木)	(社)貿易アドバイザー協会 ジェトロ認定貿易アドバイザー 社 田 広 氏 新 崎 誠 司 氏	●貿易実務英語 ●貿易取引の仕組み ●取引条件と輸出実務のポイント ●輸入実務のポイント	27 人
福山会場	平成 25 年 7 月 9 日(火) 10 日(水) 11 日(木)			41 人
計	6 日間	―	―	68 人

(4) 情報調査・収集提供 （2,461 千円）

① セミナー開催等事業 （負，会費，他 517 千円）

ア セミナーの開催

県内企業の関心の高い経済分野について，専門家や経済団体の職員等を招き，各種セミナー等を開催した。

名 称	開催日・場所	内 容	参加者数
広島県中国ビジネス講演会（共催）	平成 25 年 4 月 18 日(木) リーガロイヤルホテル広島	「今求められるビジネスリーダー像 ～人生，すべて当たりくじ！～」 ㈱セブン&アイホールディングス 顧問 ㈱オフィスはなわ 代表取締役社長 塙 昭彦氏	約 100 人

名　称	開催日・場所	内　　容	参加者数
第 1 回 中国ビジネス シリーズ講座	講演会 平成 25 年 5 月 28 日(火) 相談会 平成 25 年 5 月 29 日(水) 広島県情報プラザ	「中国への投資形態 ～主な中国進出のトラブルの原因は, この知識不足から始まる!!～」 ㈱チャイナワーク 専務取締役　遠藤 誠 氏	講演会 20 人 相談会 3 人
第 2 回 中国ビジネス シリーズ講座	講演会 平成 25 年 6 月 27 日(木) 相談会 平成 25 年 6 月 28 日(金) 広島県情報プラザ	「中国への技術移転 ～その現状・必要性・注意点について～」 ㈱チャイナワーク 代表取締役社長　孫 光 氏	講演会 19 人 相談会 5 人
中小企業海外ビジネスセミナー （共催）	平成 25 年 7 月 23 日(火) メルパルク広島	「インドにおける中小企業の ビジネスチャンスと留意点」 Nakajima Consultancy Services LLP 会長　中島敬二 氏	54 人
第 3 回 中国ビジネス シリーズ講座	講演会・相談会 平成 25 年 7 月 24 日(水) 広島県情報プラザ	「中国における販売子会社設立スキーム ～中国市場に参入して展開する具体的方法～」 ㈱チャイナワーク 専務取締役　遠藤 誠 氏	講演会 16 人 相談会 5 人
海外ビジネスセミナー（共催）	［福山会場］ 平成 25 年 8 月 6 日(火) 福山商工会議所 ［広島会場］ 平成 25 年 8 月 7 日(水) ひろしまハイビル 21	「アベノミクス,米QE3縮小は円安を加速させるか? ～ファンダメンタルズ分析からの為替戦略～」 JP モルガン・チェース銀行 債権為替調査部 エグゼクティブディレクター チーフ FX ストラテジスト 兼チーフ EM ストラテジスト　柳瀬順哉 氏	［福山］ 21 人 ［広島］ 17 人
第 4 回 中国ビジネス シリーズ講座	講演会 平成 25 年 9 月 5 日(木) 相談会 平成 25 年 9 月 6 日(金) 広島県情報プラザ	「中国の税務 ～税制最新動向も兼ねて～」 ㈱チャイナワーク 代表取締役社長　孫 光 氏	講演会 24 人 相談会 23 人
ラオスセミナー	平成 25 年 10 月 9 日(木) 広島市留学生会館	「広島とラオス」 広島ラオス交流協会 会長　戸田喬大 氏 「投資先としてのラオスの魅力 ：成功するための条件」 ラオス計画投資省 上級顧問 ラオス首相府 永久顧問　鈴木基義 氏	約 80 人
第 5 回 中国ビジネス シリーズ講座	講演会 平成 25 年 10 月 9 日(水) 相談会 平成 25 年 10 月 10 日(木) 広島県情報プラザ	「中国の労務管理 ～中国労働契約法・労働紛争対策～」 ㈱チャイナワーク 専務取締役　遠藤 誠 氏	講演会 18 人 相談会 11 人
中国法務セミナー	平成 25 年 10 月 31 日(木) 福山商工会議所	「中国法務セミナー ～実例から知る中国法務～」 三浦法律事務所 中国法アドバイザー　葛 虹 氏	45 人

名　称	開催日・場所	内　　容	参加者数
第 6 回 中国ビジネス シリーズ講座	講演会 平成 25 年 11 月 6 日(水) 相談会 平成 25 年 11 月 7 日(木) 広島県情報プラザ	「中国の不動産権利の基本 ～最新の中国不動産市場～」 ㈱チャイナワーク 代表取締役社長　孫 光 氏	講演会 25 人 相談会 15 人
フィリピンビジネスセミナー	平成 25 年 12 月 11 日(水) 広島県情報プラザ	「フィリピンの最新事情と今後の投資環境」 ㈱中小企業基盤整備機構 シニアアドバイザー 辻 聡司 氏	20 人
第 7 回 中国ビジネス シリーズ講座	講演会・相談会 平成 26 年 1 月 16 日(水) 広島県情報プラザ	「中国からのビジネス撤退 ～中国からの撤退方法と具体的事例～」 ㈱チャイナワーク 専務取締役　遠藤 誠 氏	講演会 20 人 相談会 9 人
海外ビジネスセミナー（共催）	［広島会場］ 平成 26 年 1 月 16 日(木) ひろしまハイビル 21 ［福山会場］ 平成 26 年 1 月 17 日(金) 福山商工会議所	「為替相場の見通しについて ～米ドルなど主要通貨の為替相場動向～」 シティグループ証券㈱ 外国為替本部 通貨戦略本部 チーフ FX ストラテジスト 高島 修 氏	［広島］ 35 人 ［福山］ 19 人
第 8 回 中国ビジネス シリーズ講座	講演会・相談会 平成 26 年 2 月 13 日(木) 広島県情報プラザ	「中国ビジネス成功の奥義～中国人との文化・慣習等の違いをどう乗り越えるか～」 ㈱チャイナワーク 代表取締役社長　孫 光 氏	講演会 19 人 相談会 7 人

イ　国際賛助会員の集いの開催

7 月に開催した海外情勢報告等事業に合わせ，国際賛助会員の相互交流や情報交換を目的とした交流会を開催した。

会　　場	広島会場	福山会場
日　　時	7 月 17 日(水) 17:30～19:00	7 月 18 日(木) 17:15～18:45
場　　所	リーガロイヤルホテル広島３階 宮島の間	福山商工会議所ビル１階 喫茶シャノン
参加者数	55 人	35 人

② 海外情勢報告等事業　　（負，会費 259 千円）

海外拠点事務所員・ビジネスサポーター等による海外の最新情報の報告や，拠点毎の情報交換会を開催した。

名称	開催日・場所	内　　容	参加者数
海外ビジネスセミナー	［広島会場］ 平成 25 年 7 月 17 日(水) ひろしまハイビル 21 17 階会議室 ［福山会場］ 平成 25 年 7 月 18 日(木) 福山商工会議所 1 階 102 会議室	第 1 部　海外進出企業における税務課題 「日本親会社の税務リスク」 税理士法人マイツ 税理士　山元博文氏 第 2 部　インドネシアセミナー 「黄金時代は続くのか ～ インドネシア経済への期待とリスク～」 ジャカルタビジネスサポーター　松井和久氏 第 3 部　フィリピン進出セミナー 「成功するための準備とは」 ㈱中小企業基盤整備機構 シニアアドバイザー 横山 徹氏	［広島］ 63 人 ［福山］ 60 人
	［広島会場］ 平成 26 年 3 月 4 日(火) ひろしまハイビル 21 17 階会議室 ［福山会場］ 平成 26 年 3 月 5 日(水) 福山商工会議所 1 階 102 会議室	第 1 部　海外進出を成功に導くために 「他社事例から学ぶ　これだけは押さえておきたい 3 つのポイント」 GIPP ジャパン㈱ 代表取締役社長 熊本浩明氏 第 2 部　ベトナムセミナー 「2013 年ベトナム変更点，日系企業の進出状況」 ホーチミン・ビジネスサポーター　石川 幸氏 第 3 部　ミャンマーセミナー 「民主化後のミャンマー経済と外貨の動向」 丸紅経済研究所 産業調査チーム　井上祐介氏 「ティラワ経済特区の開発状況について」 丸紅㈱ プラント・産業機械部門 交通・インフラプロジェクト部　飯田和紀氏	［広島］ 89 人 ［福山］ 61 人

③ 情報誌等発行事業　　（負，他 1,659 千円）

ア　情報誌の発行

各種海外経済情報等を取りまとめた情報誌を発行し，定期的に賛助会員企業等に対して有益な情報を提供した。

情報誌名	発行	巻　頭　ペ　ー　ジ　内　容
HAPEE MAIL	4月号	「Japan is so COOL!」 中国経済産業局　局長　若 井 英 二 氏
	5月号	海外事務所及び海外ビジネスサポーター紹介
	6月号	「アジアとの経済交流の拡大に向けて」 広島県商工労働局　局長　寄 谷 純 治 氏
	7月号	シンガポール　ビジネスサポーター　碇　　知 子 氏
	8月号	「はみだしガイドのおもてなし」 一般社団法人広島県観光連盟 専務理事　石 本 秀 紀 氏
	9月号	重慶　ビジネスサポーター　吉 川 孝 子 氏
	10月号	「重要な国際化教育」 広島経済同友会　代表幹事　永 野 正 雄 氏
	11月号	ハノイ　ビジネスサポーター　中 川 良 一 氏
	12月号	「『国際課』に思うこと」 マツダ株式会社代表取締役副社長　金 井 誠 太 氏
	1月号	台北　ビジネスサポーター　皆 川 榮 治 氏
	2月号	「魚食文化の継承と世界を目指して」 クニヒロ株式会社　代表取締役社長　川 﨑 育 造 氏
	3月号	大連　ビジネスサポーター　劉　　瑛 氏

イ　海外進出企業ダイレクトリーの更新発行

県内企業の海外進出状況を調査し，海外事業所等の概要（名称，所在地，連絡先，主要製品・取扱品等）を取りまとめて発行した。

発行	発行部数	掲　載　企　業
9月	８００部	県内に本社又は事業所を有する企業のうち，海外拠点を有しており公表を承諾した企業

④ 国内ネットワーク事業　　（負，会費 26 千円）

ア　国内での連携

企業に対する支援事業を効果的に行うため，ジェトロ広島貿易情報センター，(独)中小企業基盤整備機構中国本部，県内商工会議所及び広島銀行等と地域連携を図りながら事業に取り組むとともに，県内外の公的支援サービス機関や外国政府機関等とも連携を図った。

イ　企業ニーズ調査

企業ニーズを把握するため，賛助会員企業等へのアンケート調査を実施した。

- 調査時期：平成 25 年 10 月
- 回 答 数：75 企業・団体
- 回 答 率：34.4%

＜アンケート結果の概要＞

項　　目	平成 25 年度調査	平成 24 年度調査
関心の高い地域	1．中国（26） 2．タイ（23） 3．ベトナム（17） 4．インドネシア（15）	1．中国（21） 2．インドネシア（15） 3．ベトナム（11） 4．タイ（10）
その地域の関心事	1．市場規模・動向（49） 2．労働力事情（23） 2．税制・法律（23） 4．流通事情（22）	1．市場規模・動向（40） 2．流通事情（28） 3．労働力事情（20） 4．税制・法律（19）
サポーター設置 希望地域	1．ミャンマー（9） 2．カンボジア（5） 3．インド（4） 3．メキシコ（4）	1．ミャンマー（8） 2．オーストラリア（4） 3．メキシコ（3） 3．ブラジル（3）
ミッション派遣先 希望地域	1．台湾（7） 2．シンガポール（6） 2．マレーシア（6） 4．中国，タイ，インドネシア， ミャンマー，メキシコ（各 4）	1．中国（11） 2．インド（8） 3．ロシア（7） 3．タイ（7）

6　産業振興施設の運営　（401,185 千円）

(1)　産業支援施設の運営　（401,185 千円）

施設の効用を最大限発揮するとともに，管理経費の削減を図るという「指定管理者制度」の趣旨に沿った，より効果的，効率的な施設運営に努めていく。

①　産業会館管理運営事業　（自 283,726 千円）

見本市・展示会場の機能を一層発揮させるため，施設の改修など利用者サービスの一層の向上を図るとともに，新規利用企業の誘致や施設の効率的・効果的な運営など会館の適正な管理運営に努めている。

○　利用実績（平成２５年４月から平成２６年３月まで）

月別	本館・東館			西　館			駐車場		合　計
	日数(日)	件数(件)	利用料金収入(円)	日数(日)	件数(件)	利用料金収入(円)	台数(件)	利用料金収入(円)	利用料金収入(円)
4	23	17	6,913,980	24	10	11,511,040	15,411	8,814,550	27,239,570
5	25	27	8,576,030	23	19	9,550,035	16,279	9,401,200	27,527,265
6	27	25	7,321,800	26	22	11,038,570	17,441	9,697,850	28,058,220
7	24	25	6,198,470	26	23	10,901,455	18,072	10,265,050	27,364,975
8	20	19	5,602,945	13	8	3,857,230	11,419	7,209,950	16,670,125
9	27	23	7,907,605	23	18	8,970,150	17,477	9,657,700	26,535,455
10	28	28	9,760,165	29	18	15,387,680	19,895	12,477,300	37,625,145
11	25	21	10,366,705	26	17	9,056,355	18,541	10,194,800	29,617,860
12	23	17	8,601,485	20	14	6,835,455	15,253	8,205,150	23,642,090
1	24	16	7,665,250	19	15	8,260,095	13,634	7,276,300	23,201,645
2	24	29	8,165,925	20	16	7,672,580	14,422	8,101,900	23,940,405
3	25	20	9,298,795	21	12	7,643,110	19,572	9,559,250	26,501,155
計	295	267	96,379,155	270	192	110,683,755	197,416	110,861,000	317,923,910

②　産業技術交流センター等管理運営事業　（県，自 117,459 千円）

公共団体の事務室利用及び商工業者，産業関係諸団体への研修室等の貸出しなどにより，県内産業の振興に資する目的を一層増進させるため「産業技術交流センター」の適正な管理運営を行っている。併せて「県立図書館」，「県立文書館」及び「県立生涯学習センター」について，県から委託を受けて一体的な管理にあたっている。

○　利用実績（平成２５年４月から平成２６年３月まで）

月別	利用件数							会場使用料収入（円）A	駐車場収入（円）B	A＋B
	第１研修室	第２研修室	第３研修室	会議室	多目的ホール	視聴覚研修室	計			
4	17	12	20	13	10	8	80	920,500	739,950	1,660,450
5	23	20	17	16	18	15	109	1,318,000	1,122,300	2,440,300
6	24	24	25	20	28	15	136	1,982,000	1,698,300	3,680,300
7	24	23	25	16	21	16	125	1,766,500	1,155,900	2,922,400
8	19	21	22	15	22	14	113	1,596,500	1,072,500	2,669,000
9	20	18	19	12	20	8	97	1,355,000	1,230,600	2,585,600
10	23	20	22	12	24	12	113	1,651,500	1,220,400	2,871,900
11	24	22	21	11	28	19	125	1,859,500	1,096,200	2,955,700
12	20	21	21	12	16	9	99	1,387,500	941,250	2,328,750
1	13	15	20	13	17	11	89	1,141,000	1,055,400	2,196,400
2	21	27	30	18	29	15	140	1,954,000	1,143,000	3,097,000
3	14	16	27	12	27	15	111	1,654,000	1,014,900	2,668,900
計	242	239	269	170	260	157	1,337	18,586,000	13,490,700	32,076,700